

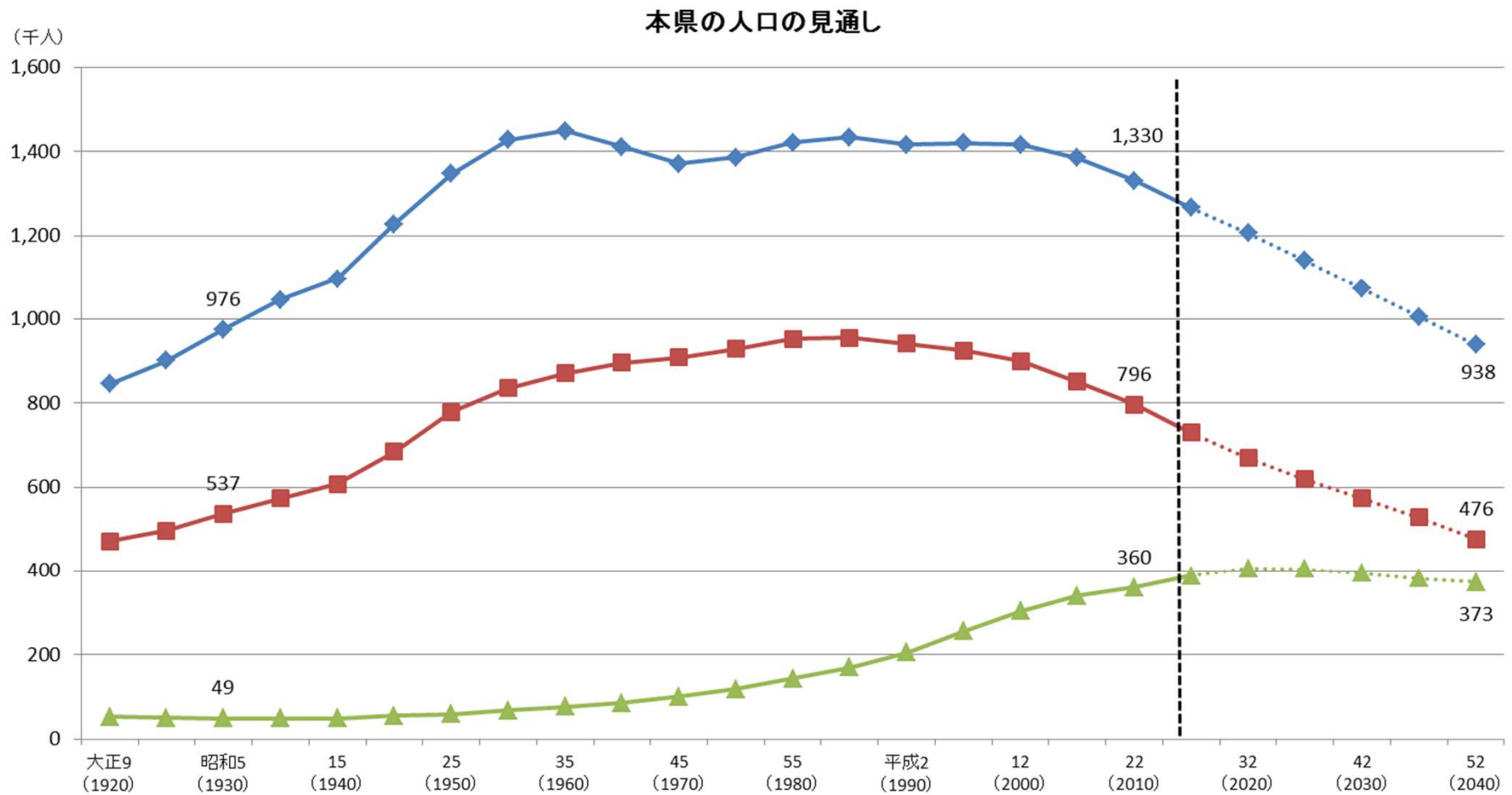
県内市町村における人口の動向について

【目次】

I	人口の推移と将来見通し	1～2
II	人口減少のメカニズム	
	・社会減関係	3～26
	・自然減関係	27～40
III	市町村のつながり	41～43
	参考資料	

1. 本県人口の推移と将来見通し

- ・現状の傾向が続けば、本県の人口は、2040年には93.8万人まで減少（△29.5%）する見込み。
- ・生産年齢人口は2040年には47.6万人となり、約32万人（△40.5%）の大幅な減少となる。



資料：国勢調査（総務省）、「地域別将来推計人口」（社人研）

● 総人口 ■ 生産年齢人口 ▲ 老年人口

2. 市町村別の人口の推移と将来見通し

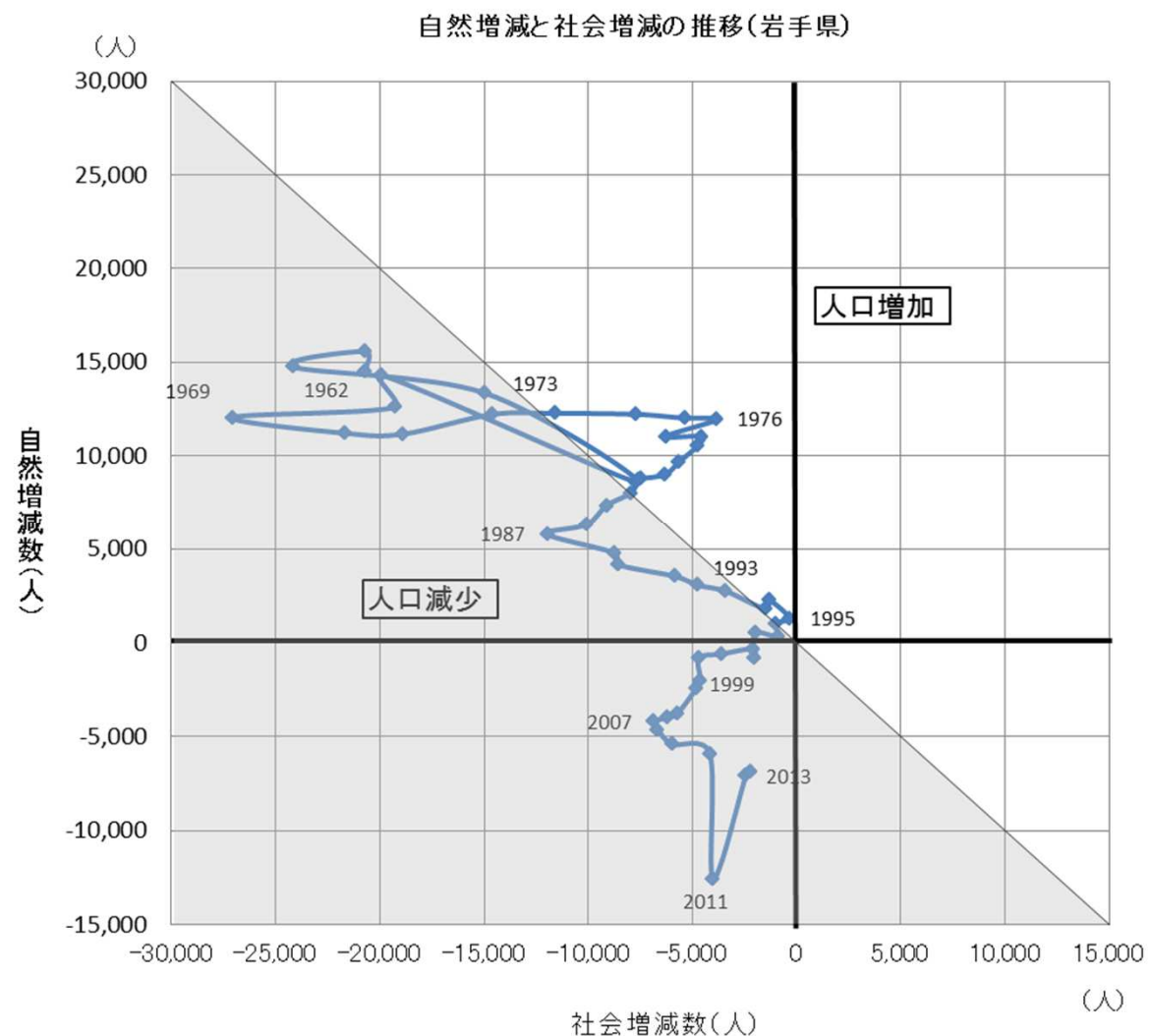
・現在の傾向が続けば、2040年に3割以上の減少が見込まれるのは26市町村、そのうち生産年齢人口が5割以上減少するのは17市町村に及ぶ。

表 県内市町村の将来人口推計

市町村名	総人口 (2010年)	生産年齢人口 (2010年)	合計特殊 出生率 (H20～ 24平均)	将来人口推計(2040年)					
				社人研推計		創成会議推計	社人研推計 増減率		創成会議推計 増減率
				総人口	生産年齢人口	総人口	総人口	生産年齢人口	総人口
盛岡市	298,348	194,848	1.31	243,930	131,417	238,270	-18.2	-32.6	-20.1
八幡平市	28,680	16,432	1.4	16,465	7,454	14,987	-42.6	-54.6	-47.7
滝沢市	53,857	36,657	1.45	50,730	28,056	50,903	-5.8	-23.5	-5.5
雫石町	18,033	10,767	1.42	11,254	5,290	10,476	-37.6	-50.9	-41.9
葛巻町	7,304	3,837	1.58	3,631	1,507	3,330	-50.3	-60.7	-54.4
岩手町	14,984	8,609	1.48	8,604	4,013	7,717	-42.6	-53.4	-48.5
紫波町	33,288	20,657	1.34	25,902	13,697	25,111	-22.2	-33.7	-24.6
矢巾町	27,205	17,815	1.3	21,508	11,074	20,337	-20.9	-37.8	-25.2
花巻市	101,438	59,717	1.42	71,618	36,854	68,691	-29.4	-38.3	-32.3
北上市	93,138	58,679	1.54	76,729	41,580	73,437	-17.6	-29.1	-21.2
遠野市	29,331	15,924	1.69	17,786	8,380	16,306	-39.4	-47.4	-44.4
一関市	127,642	73,102	1.61	82,277	39,637	75,024	-35.5	-45.8	-41.2
奥州市	124,746	72,657	1.59	86,231	43,473	80,923	-30.9	-40.2	-35.1
西和賀町	6,602	3,170	1.53	3,183	1,211	2,859	-51.8	-61.8	-56.7
金ヶ崎町	16,325	9,933	1.55	13,645	7,483	13,693	-16.4	-24.7	-16.1
平泉町	8,345	4,815	1.48	5,333	2,582	4,955	-36.1	-46.4	-40.6
宮古市	59,430	33,826	1.58	35,903	17,069	32,166	-39.6	-49.5	-45.9
大船渡市	40,737	23,328	1.55	24,969	11,873	22,987	-38.7	-49.1	-43.6
陸前高田市	23,300	12,443	1.39	13,088	5,426	12,426	-43.8	-56.4	-46.7
釜石市	39,574	21,365	1.59	21,503	10,091	19,002	-45.7	-52.8	-52.0
住田町	6,190	3,220	1.38	3,211	1,468	2,910	-48.1	-54.4	-53.0
大槌町	15,276	8,579	1.54	7,886	3,615	7,160	-48.4	-57.9	-53.1
山田町	18,617	10,361	1.54	10,139	4,777	9,040	-45.5	-53.9	-51.4
岩泉町	10,804	5,599	1.64	5,297	2,231	4,662	-51.0	-60.2	-56.8
田野畑村	3,843	2,087	1.69	2,086	836	1,834	-45.7	-59.9	-52.3
久慈市	36,872	21,943	1.64	24,391	11,771	21,691	-33.8	-46.4	-41.2
二戸市	29,702	17,170	1.47	18,820	8,925	17,246	-36.6	-48.0	-41.9
普代村	3,088	1,759	1.54	1,760	738	1,567	-43.0	-58.0	-49.3
軽米町	10,209	5,706	1.57	5,930	2,725	5,426	-41.9	-52.2	-46.8
野田村	4,632	2,713	1.53	2,656	1,103	2,413	-42.7	-59.3	-47.9
九戸村	6,507	3,548	1.5	3,863	1,806	3,579	-40.6	-49.1	-45.0
洋野町	17,913	10,154	1.51	10,272	4,527	9,101	-42.7	-55.4	-49.2
一戸町	14,187	7,893	1.47	7,504	3,286	6,698	-47.1	-58.4	-52.8
岩手県全体	1,330,147	799,314	1.45	938,104	475,975	886,928	-29.5	-40.5	-33.3

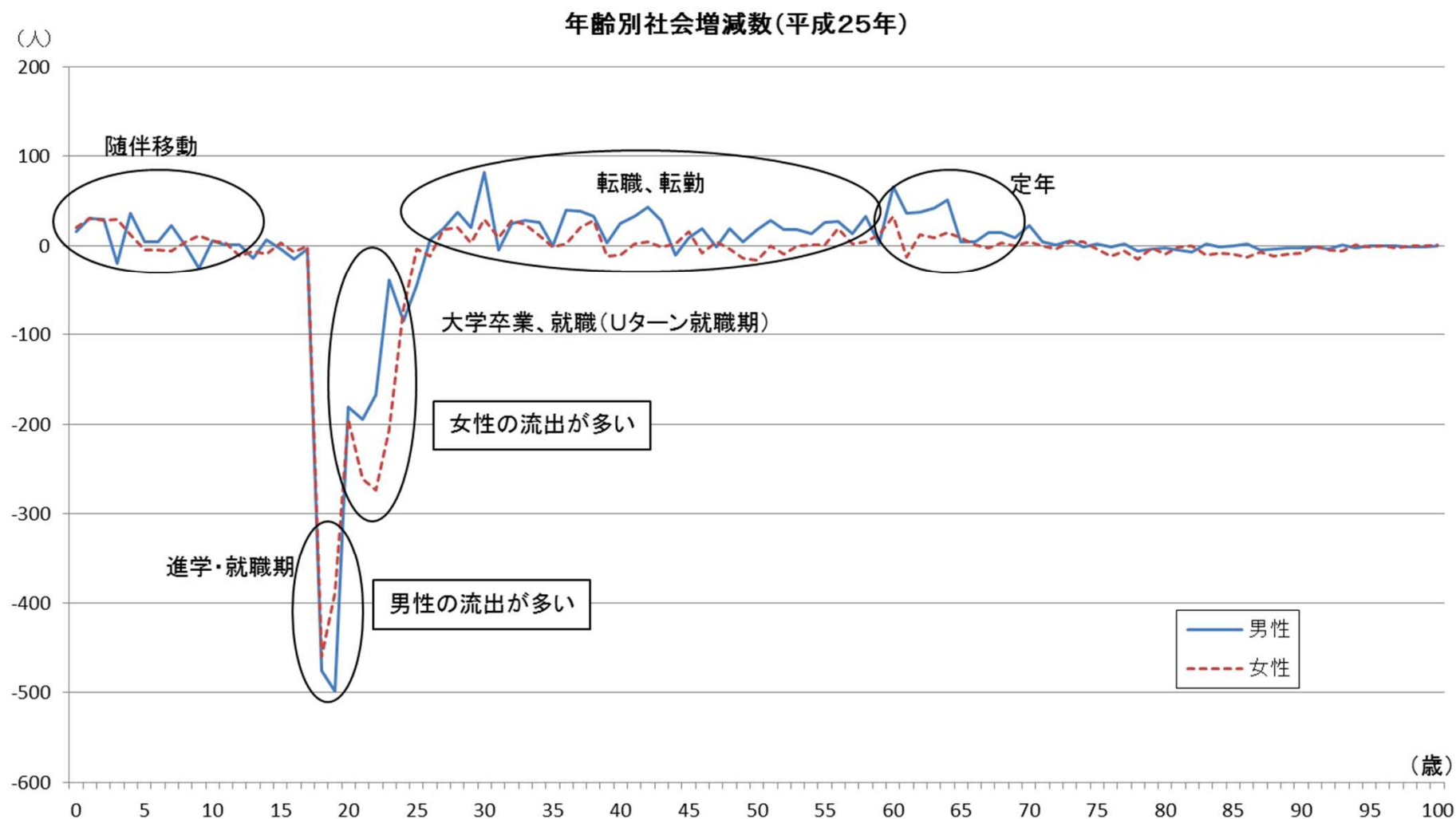
3. 人口減少のメカニズム～自然増減と社会増減～

・人口の増減は、自然増減と社会増減によって決まる。社会減の規模は次第に縮小し、1995年にはほぼゼロになったが、1999年以降自然減になり、人口減少は続いている。



4. 社会増減～人口流出のタイミング～

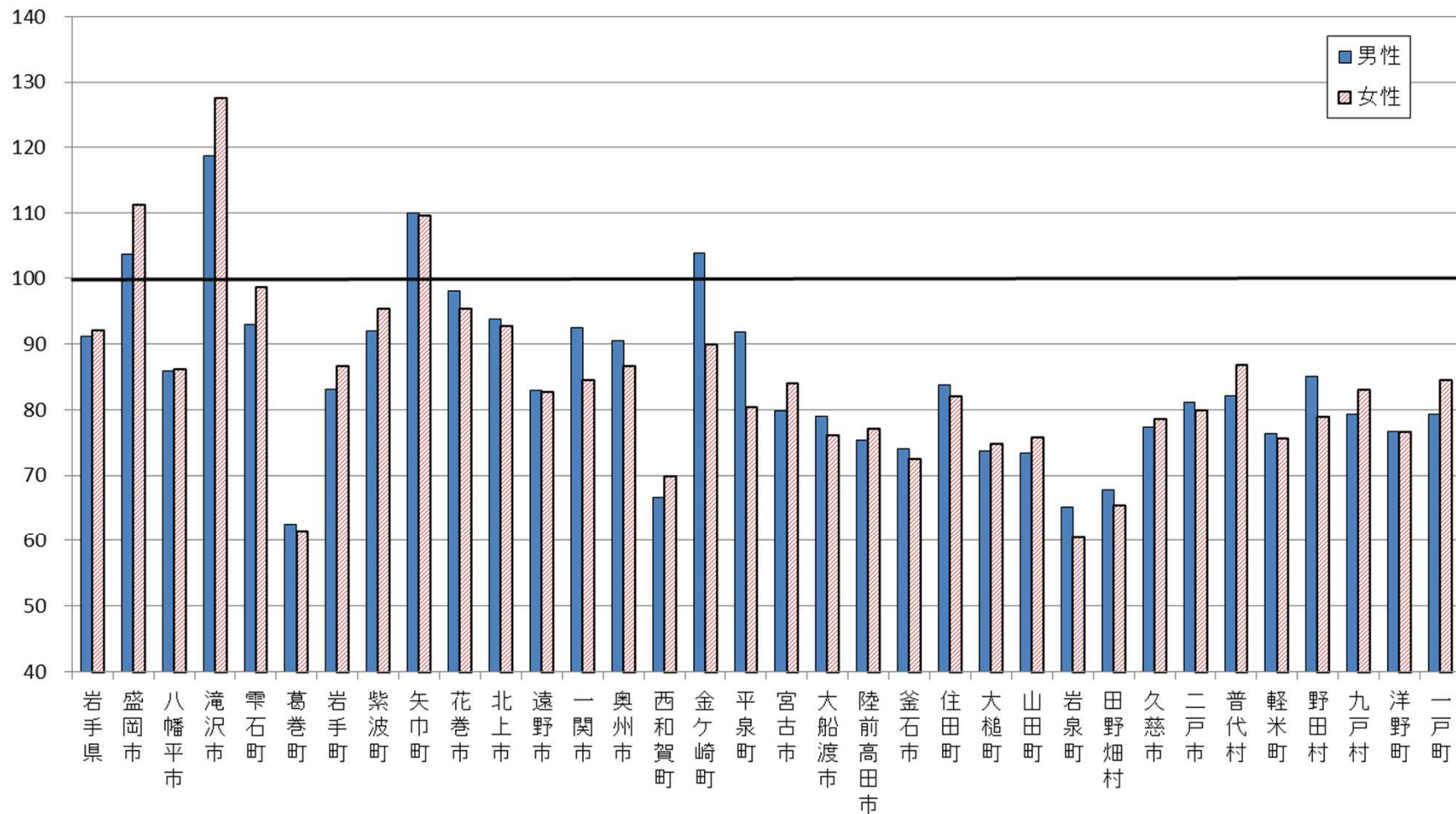
- ・ 社会増減はライフサイクルに応じて発生。18～24歳の進学・就職時に社会減のピークがある。
- ・ 20代後半から50代までは転勤や転職による社会増減がみられ、子世代の随伴移動を伴う。



5. 社会増減～高校卒業時～

・1981年～85年生まれの世代を例に5年ごとの人口変化をみると、10～14歳から15～19歳にかけて、高卒後の進学・就職等による社会増減が始まる。また、市町村によっては男女差もみられる。

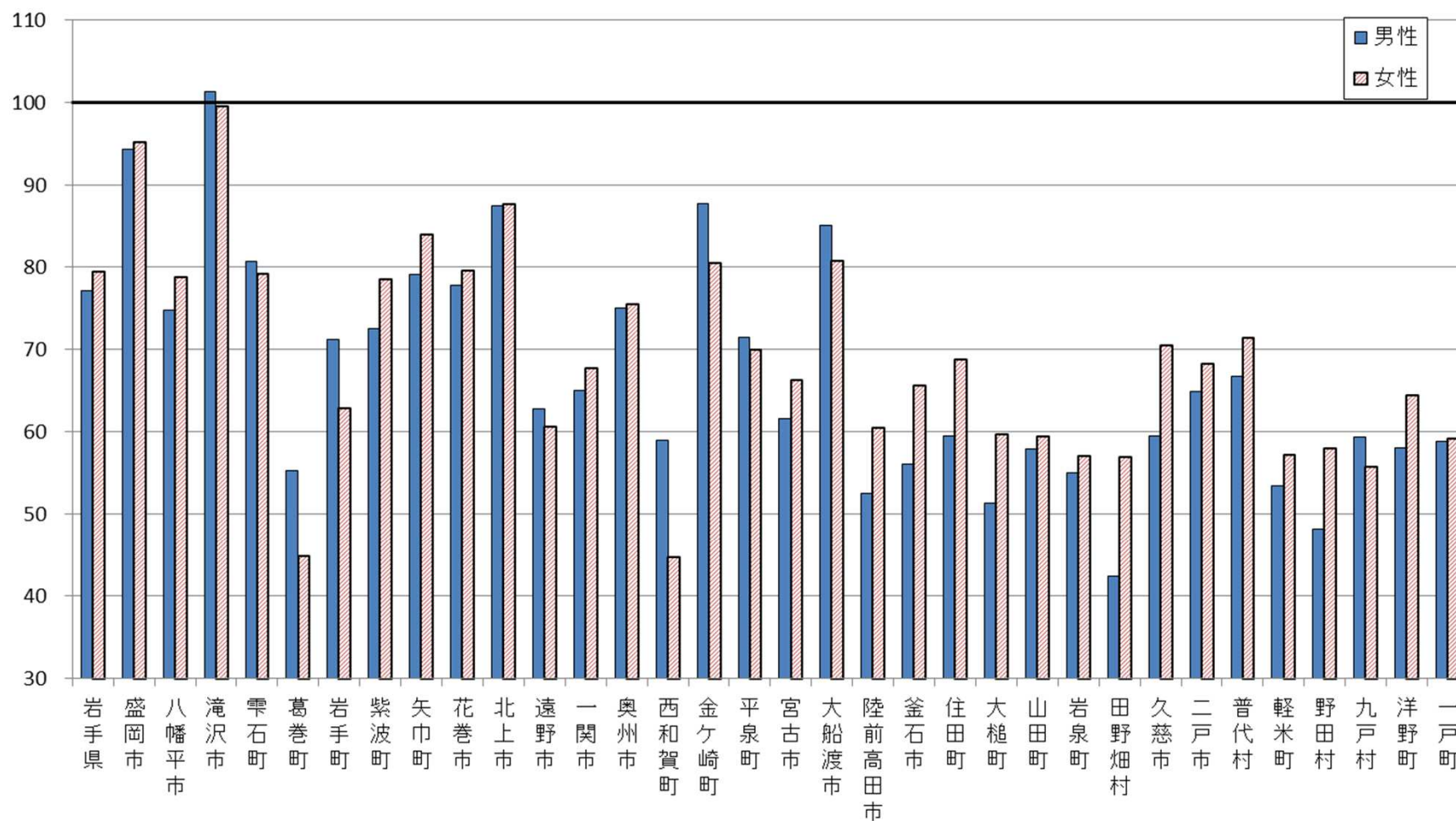
10～14歳から15～19歳にかけての人口変化(1981年～85年出生コーホート、10～14歳=100)



6. 社会増減～大学卒業時～

・ 15～19歳から20～24歳にかけて、滝沢市を除く市町村で人口が減少し、大卒時の就職等による社会減がさらに進む。また、沿岸、県北地域を中心に人口減少の男女差も拡大している。

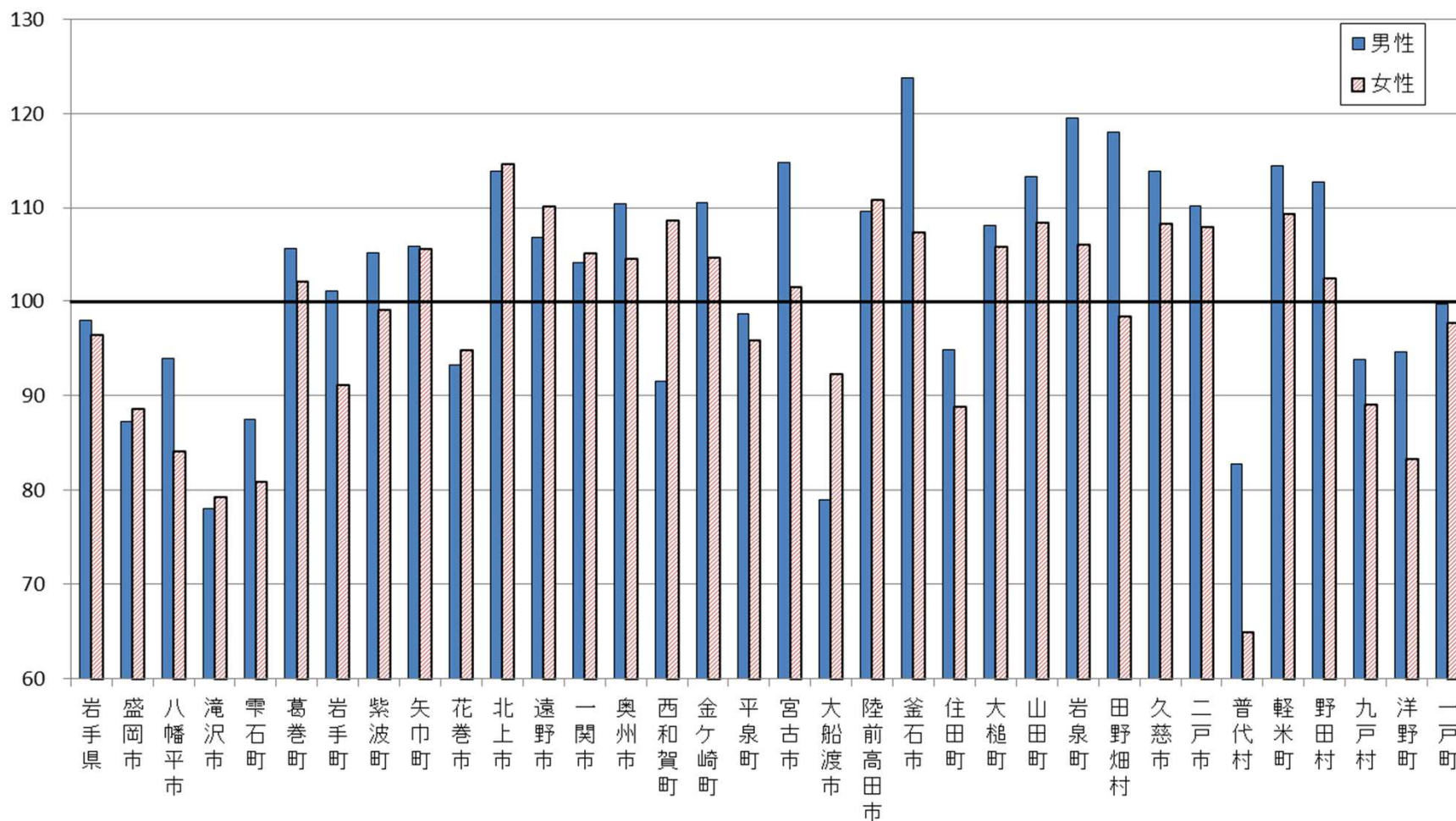
15～19歳から20～24歳にかけての人口変化(1981年～85年出生コホート、15～19歳=100)



7. 社会増減～20代後半(Uターン就職時)～

・20代後半にはUターン就職等により社会増となる市町村がみられるが、それまでの社会減を補うレベルではない。また、女性の変化量が男性を下回っている市町村は24にのぼる。

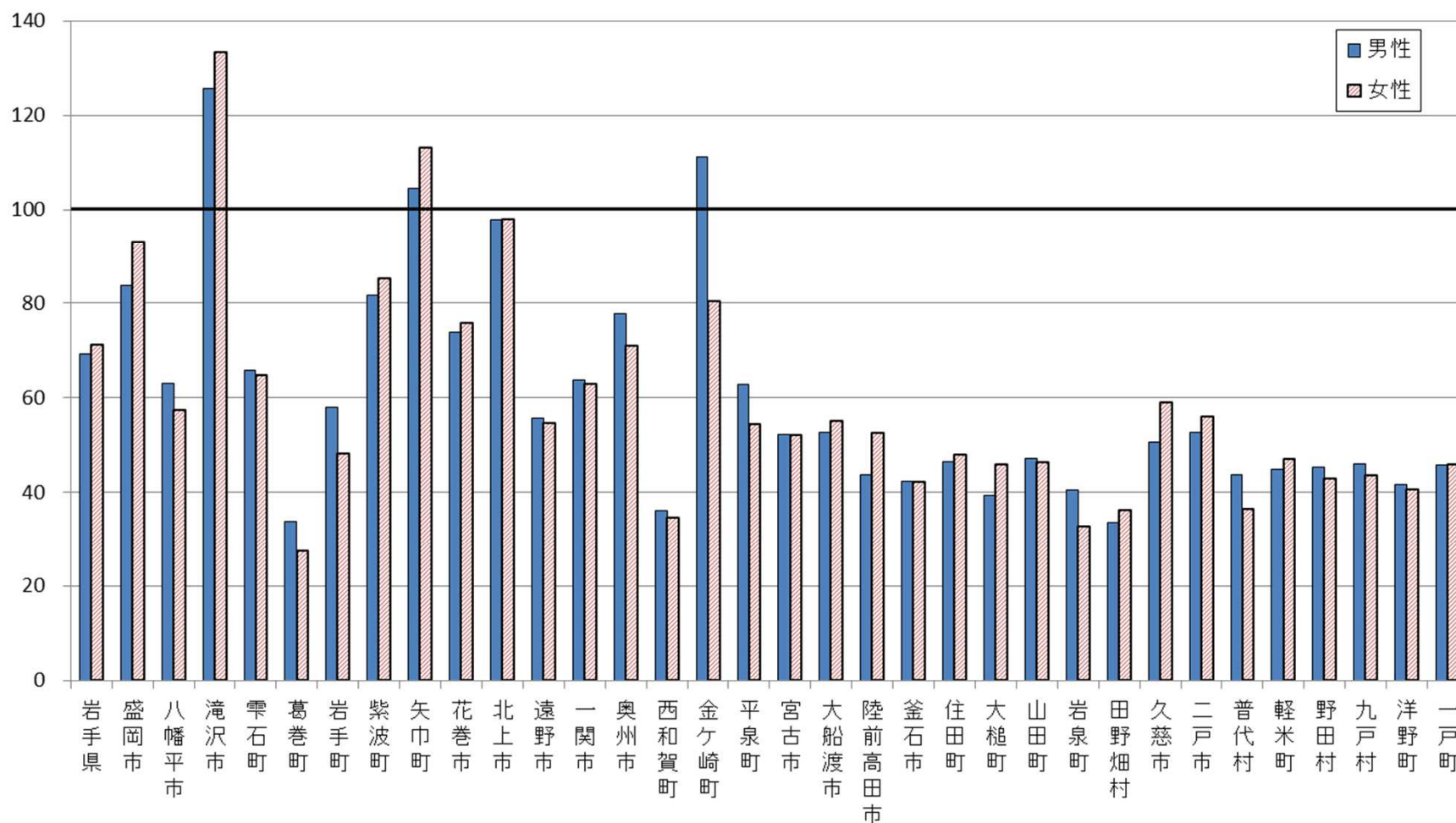
20～24歳から25～29歳にかけての人口変化(1981年～85年出生コホート、20～24歳=100)



8. 社会増減～若者人口の減少～

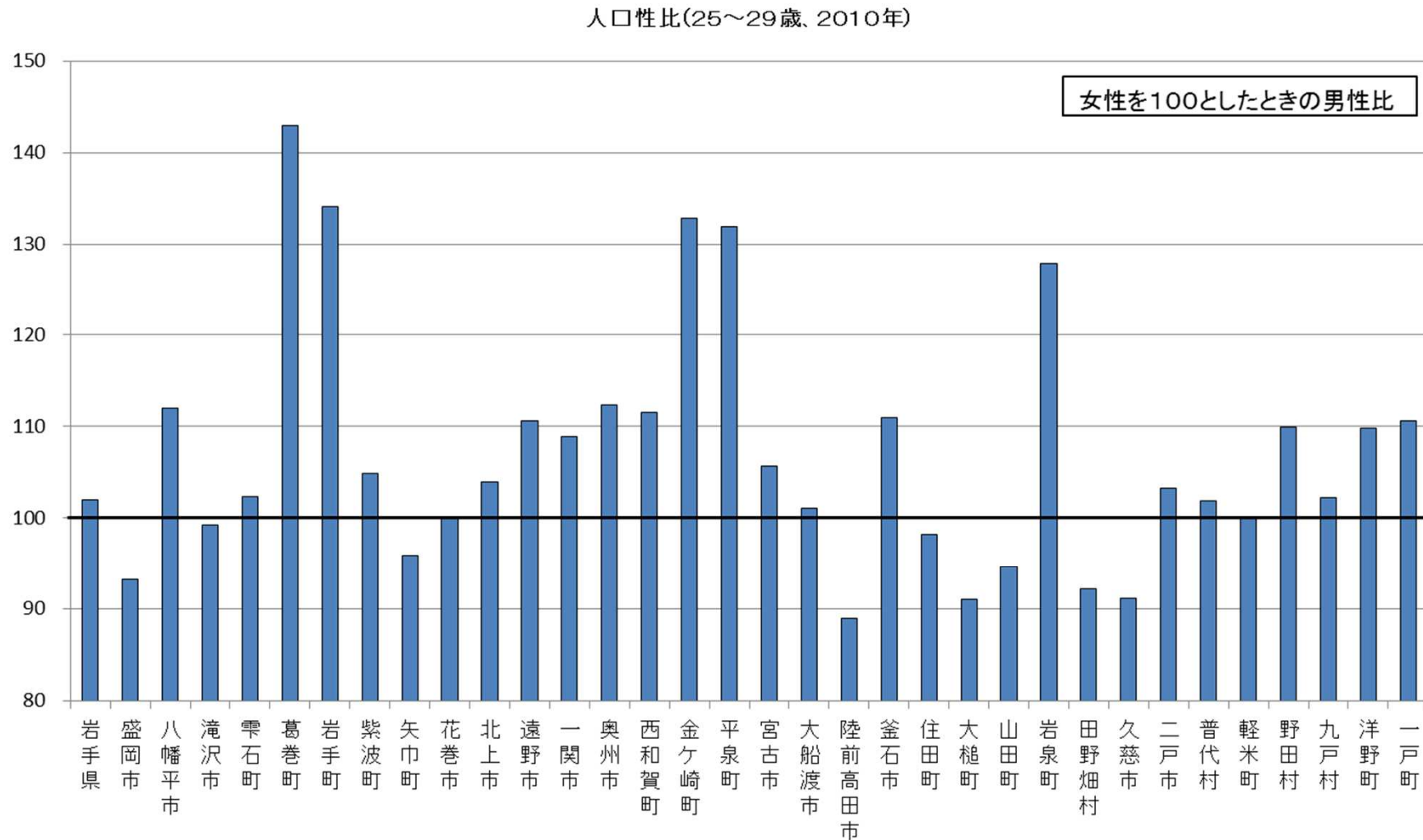
・その結果、若者の人口が減少する。1985年の0～4歳人口を100とした場合の2010年の25～29歳人口は、多くの市町村で100を大きく下回っている。

0～4歳から25～29歳にかけての人口変化(1981年～85年出生コホート、0～4歳人口=100)



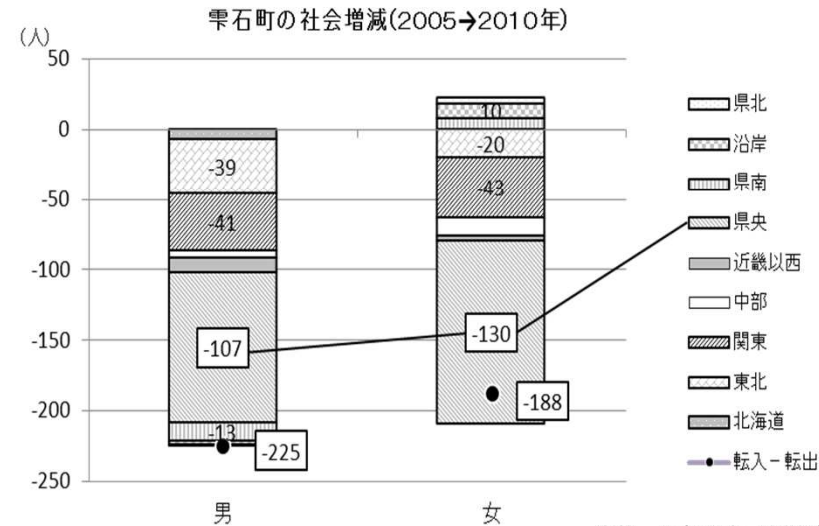
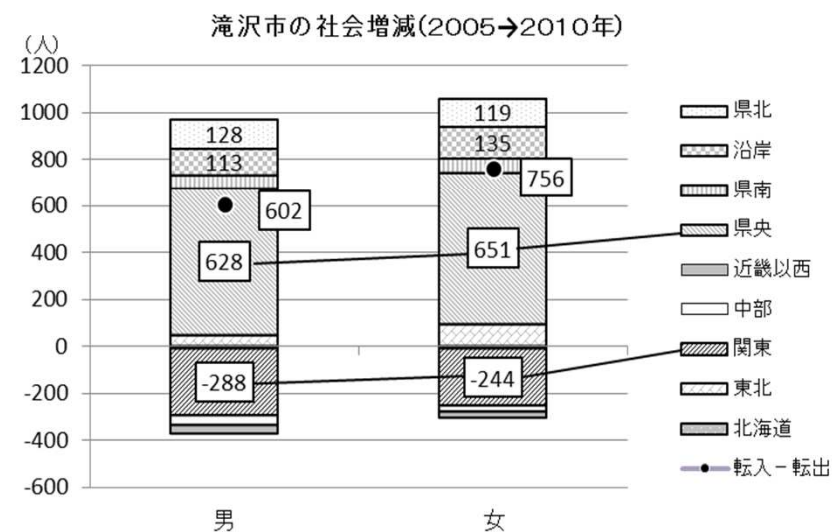
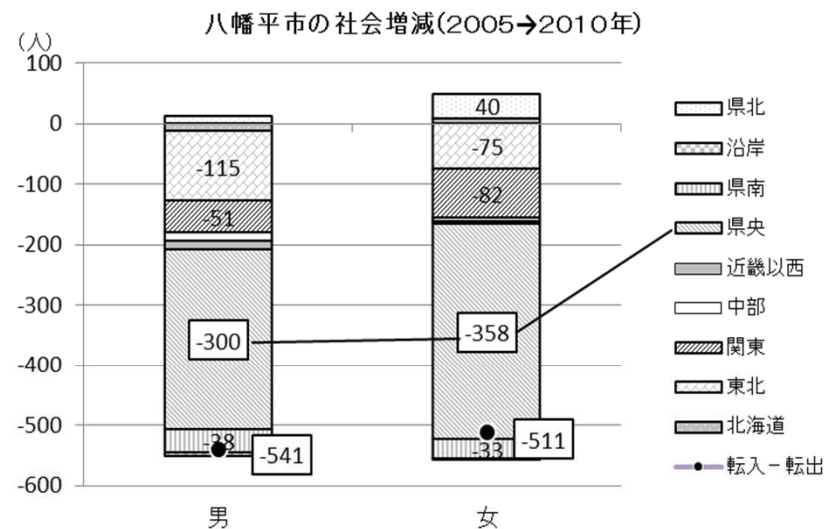
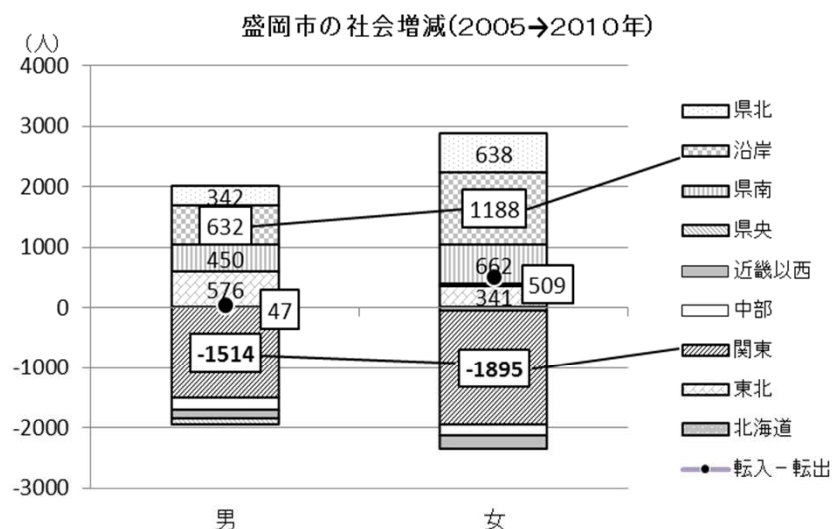
9. 社会増減～人口性比～

・人口流出の度合いに男女差があることで、女性人口を100とした場合の男性人口を示す人口性比は市町村ごとに大きな違いが生じる。



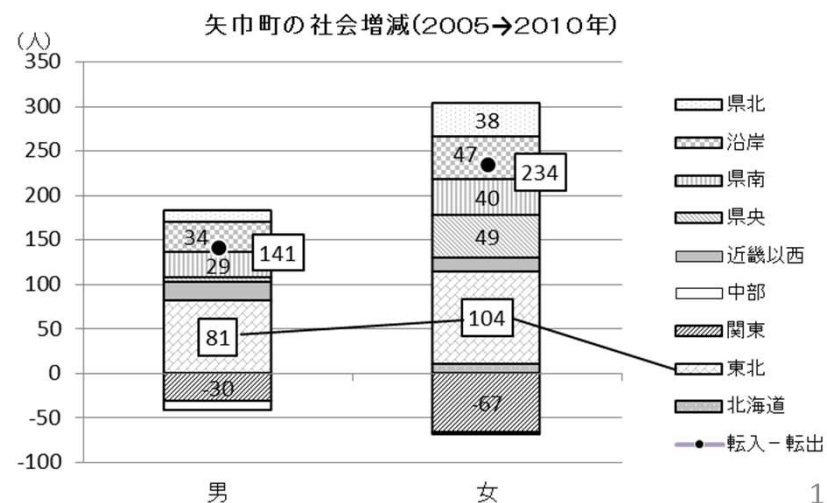
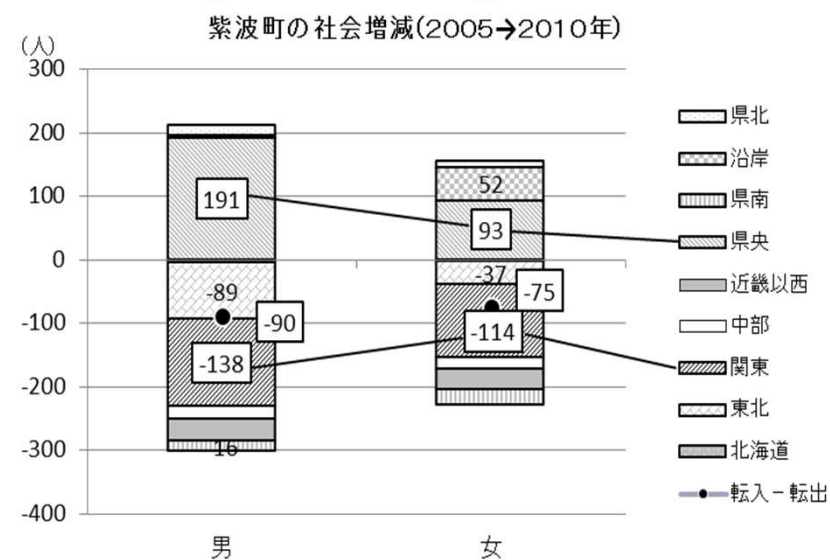
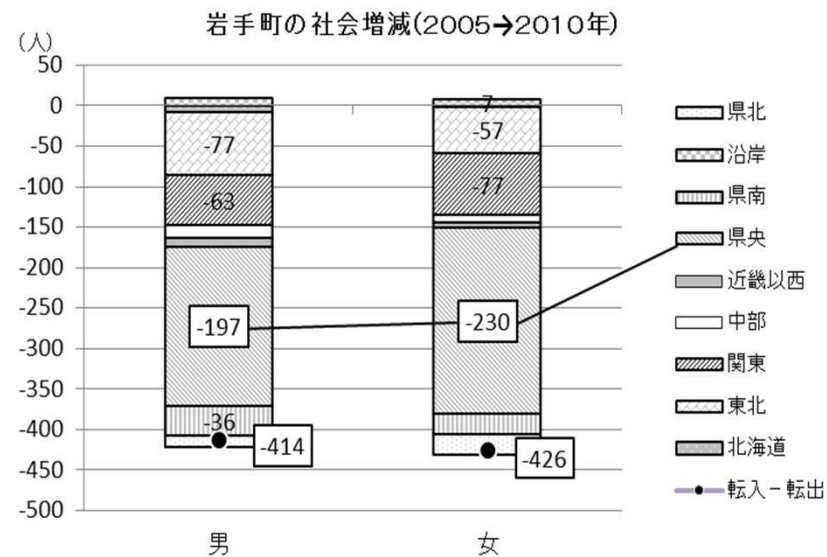
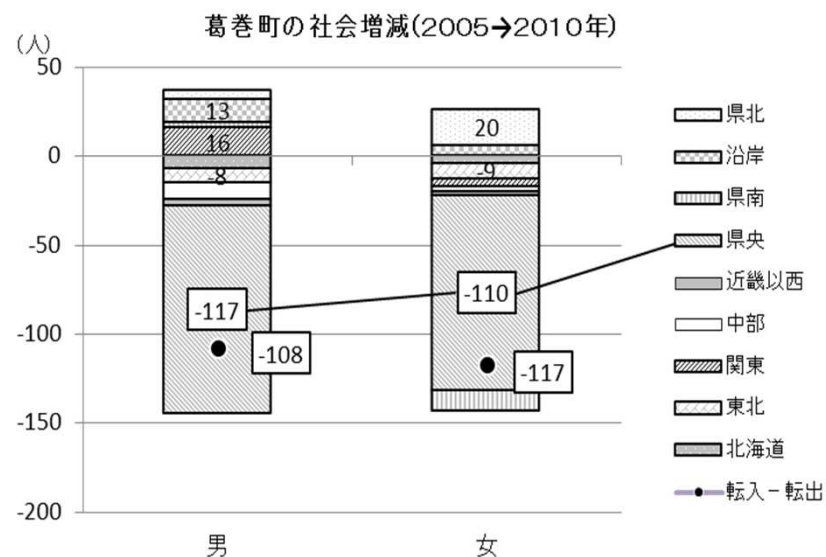
10. 社会増減～県央地域の社会増減①～

- ・ 社会増減の対策については、地域圏ごとの特徴を踏まえた取組が必要。
- ・ 盛岡市や滝沢市では、県内各地域から人口流入がある。八幡平市と雫石町では、県内からの流入がほとんどなく、県央への流出がある。また、いずれも関東・東北への流出も多い。



11. 社会増減～県央地域の社会増減②～

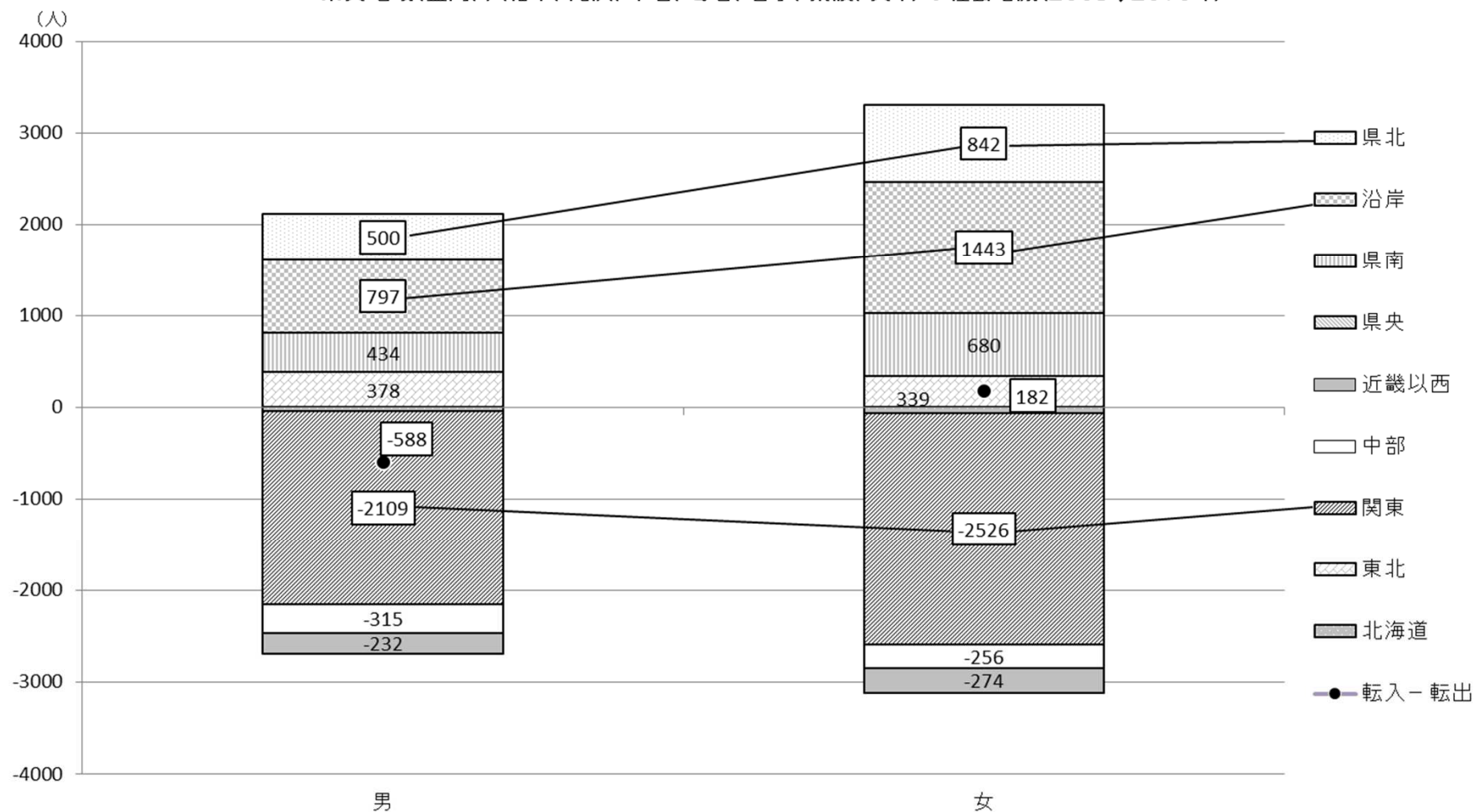
- ・ 葛巻町と岩手町は県央への流出が多い。葛巻町では県北・沿岸や関東からの流入がみられる。
- ・ 紫波町は県央からの流入があり、矢巾町は県内各地や東北からの流入が多く流入超過の状態。



12. 社会増減～県央地域の社会増減③～

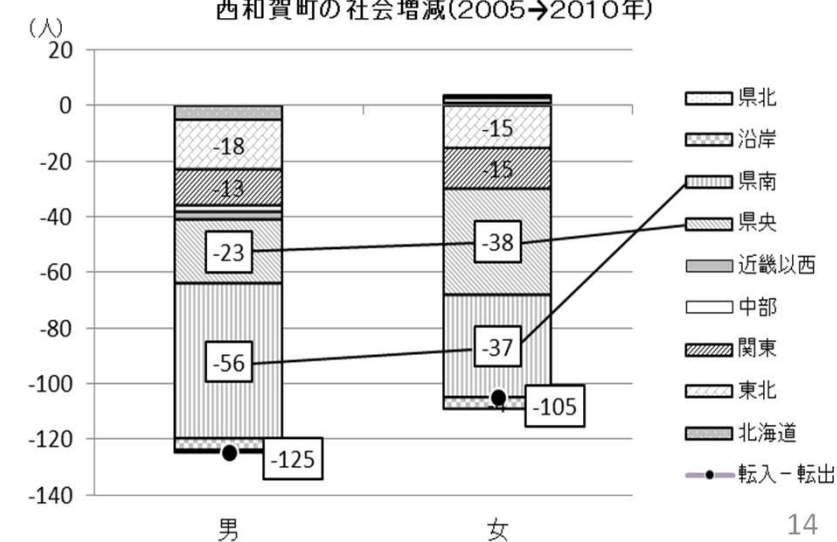
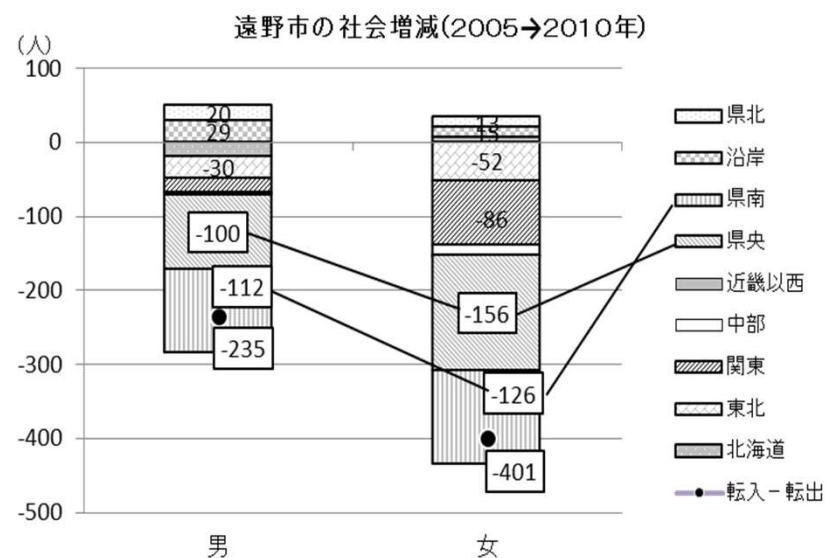
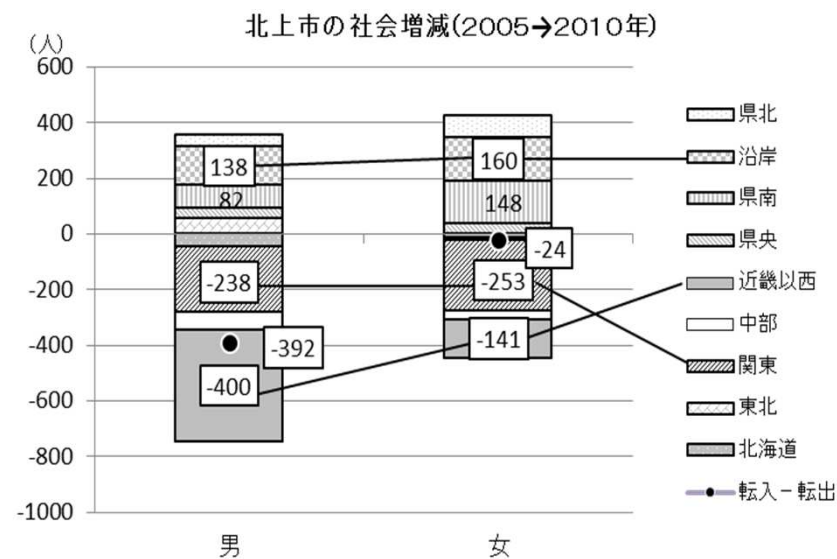
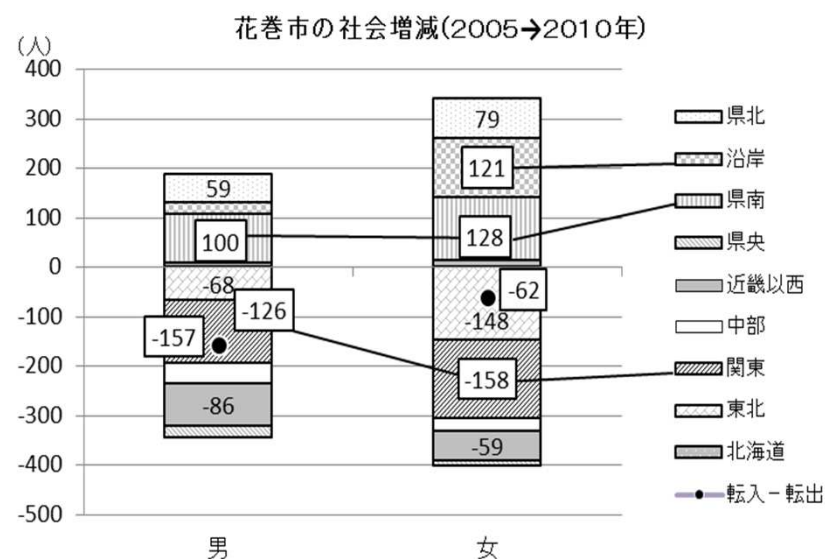
・ 県央地域全体でみると、県内全域から人口が流入する一方で、関東を中心に多くの人口が流出している。女性は流入超過であり、県北・沿岸を中心に県内からの流入の拠点機能がある。

県央地域(盛岡、八幡平、滝沢、雫石、葛巻、岩手、紫波、矢巾)の社会増減(2005→2010年)



13. 社会増減～中部地域の社会増減①～

- ・花巻市と北上市は県内各地からの流入があるが、関東・東北・近畿以西への流出も多い。
- ・遠野市と一関市は県内からの流入がほとんどなく、県央・県南や関東・東北への流出が多い。

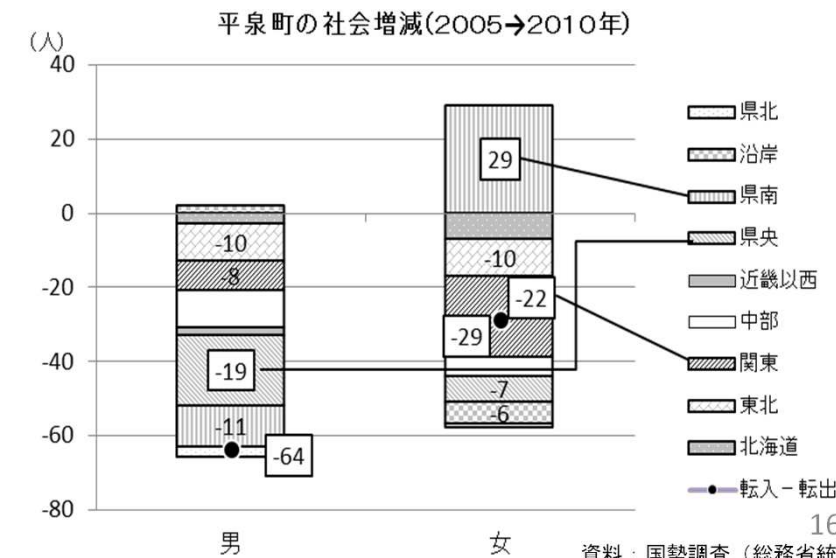
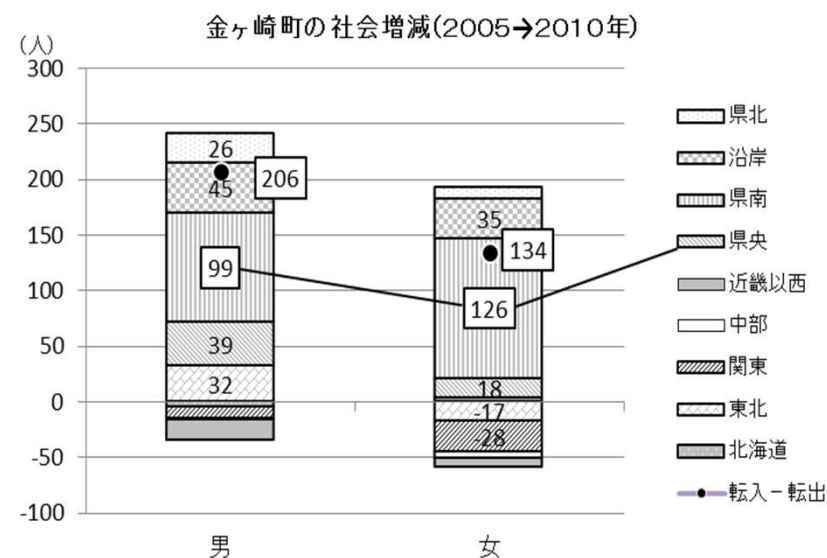
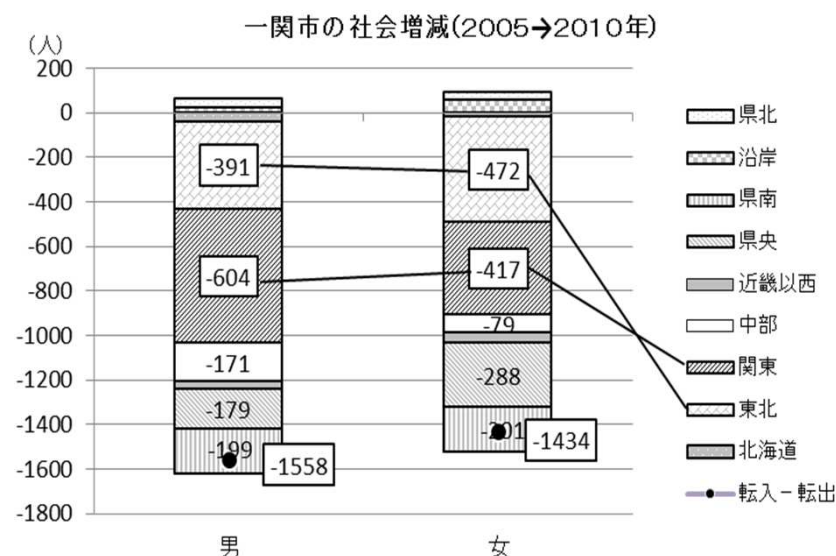
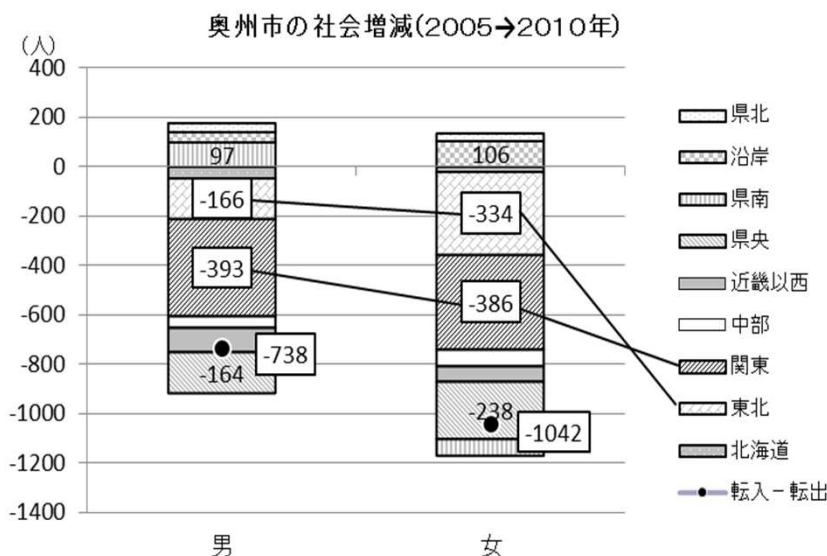


・中部拠点全体でみると、県北・沿岸からの人口流入があり一定の拠点機能を有しているが、関東・東北・近畿以西への人口流出も多く、人は集まるが流出している状態。

性別	道庁別人口 (千人)	転入-転出 (千人)
男	道庁別人口	
男	北海道	-111
男	東北	-492
男	関東	-396
男	中部	-109
男	近畿以西	-59
男	近畿	-62
男	中国	185
男	四国	121
男	九州	
女	道庁別人口	
女	北海道	-165
女	東北	-73
女	関東	-592
女	中部	-512
女	近畿以西	-223
女	近畿	113
女	中国	292
女	四国	171
女	九州	

15. 社会増減～県南地域の社会増減①～

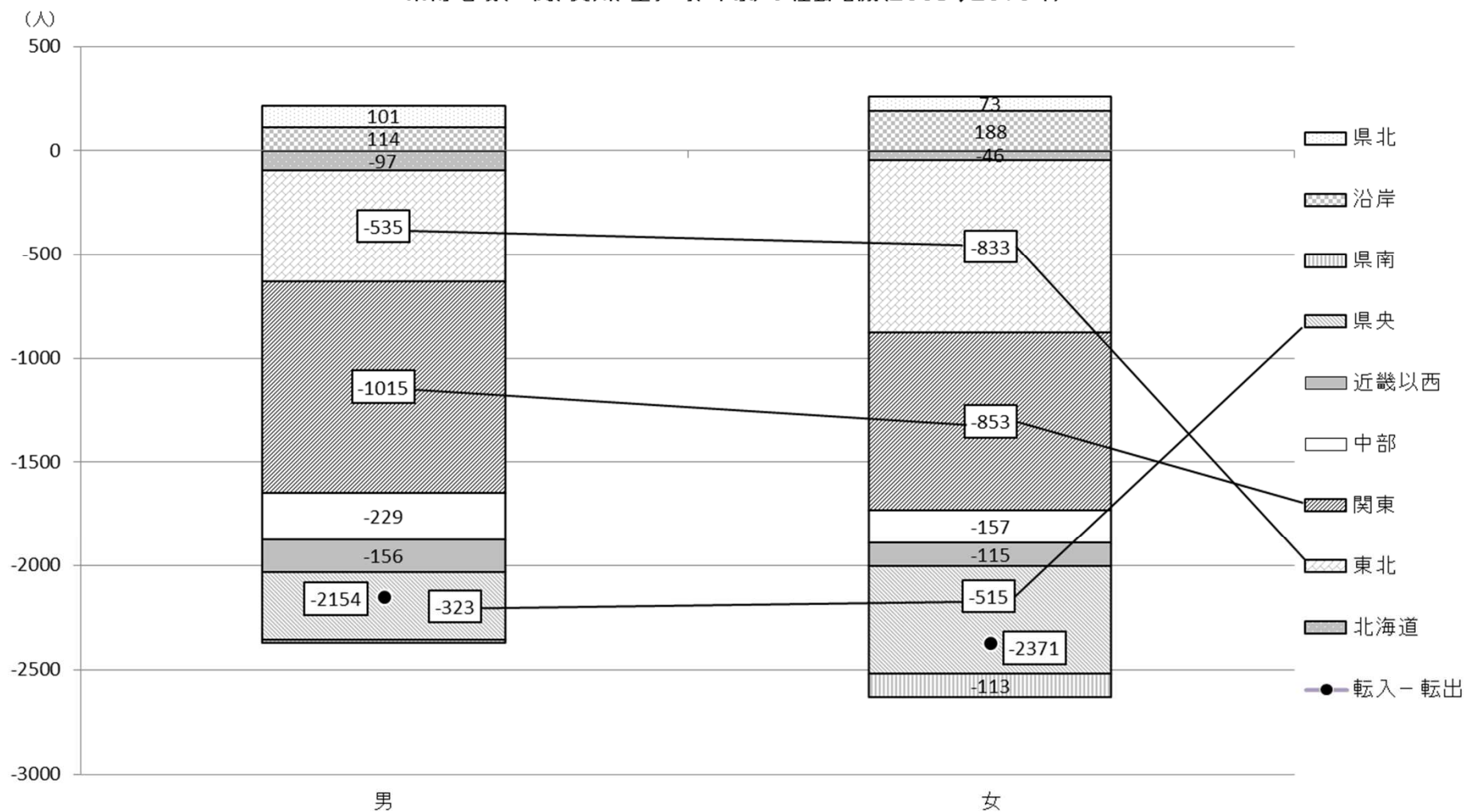
・奥州市と一関市は県央、関東・東北への流出が多い。金ヶ崎町は県内各地からの流入があり流入超過となっている。平泉町の男性は県内外へ流出しているが、女性は県南からの流入がある。



16. 社会増減～県南地域の社会増減②～

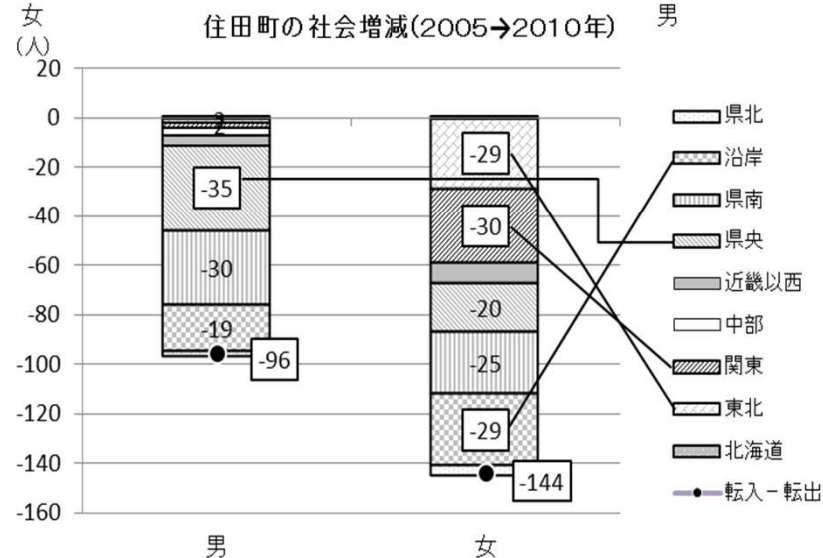
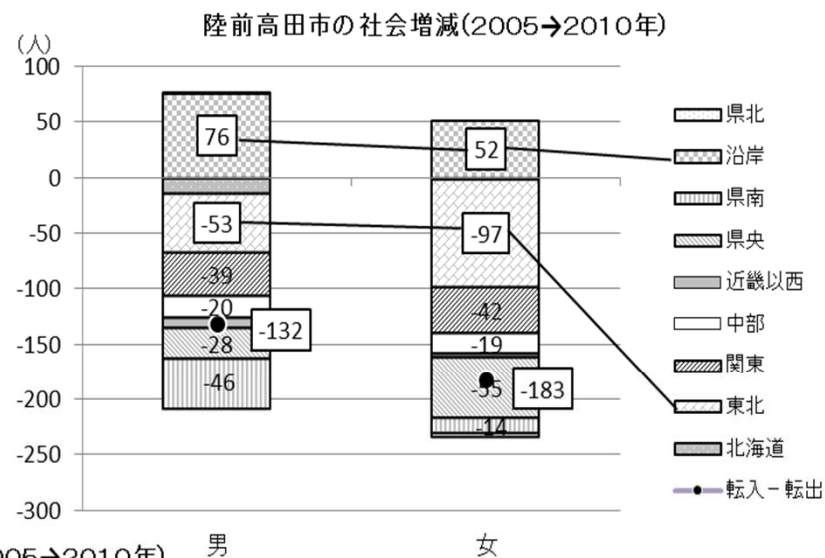
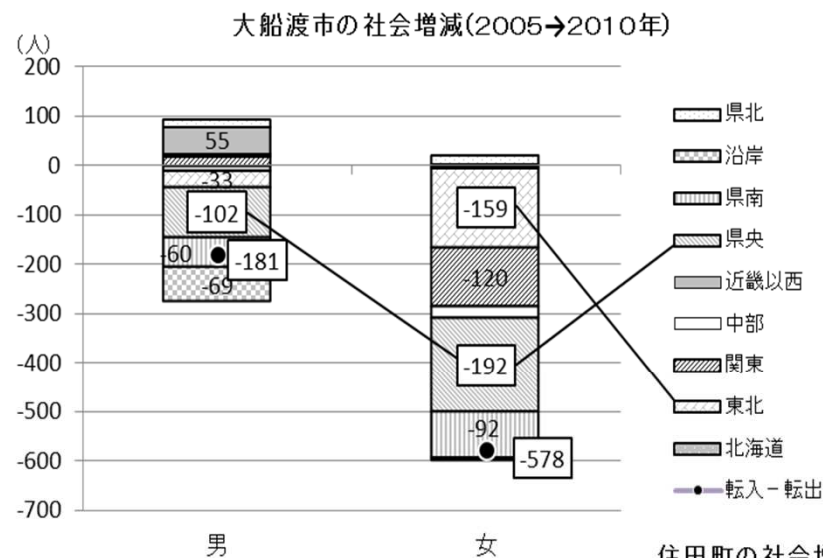
・ 県南地域全体でみると、県内からの人口流入を受け止める拠点機能は中部地域より弱い一方、県央、関東・東北への人口流出が多い。女性の流出は男性より約1割多い。

県南地域(一関、奥州、金ヶ崎、平泉)の社会増減(2005→2010年)



17. 社会増減～気仙地域の社会増減①～

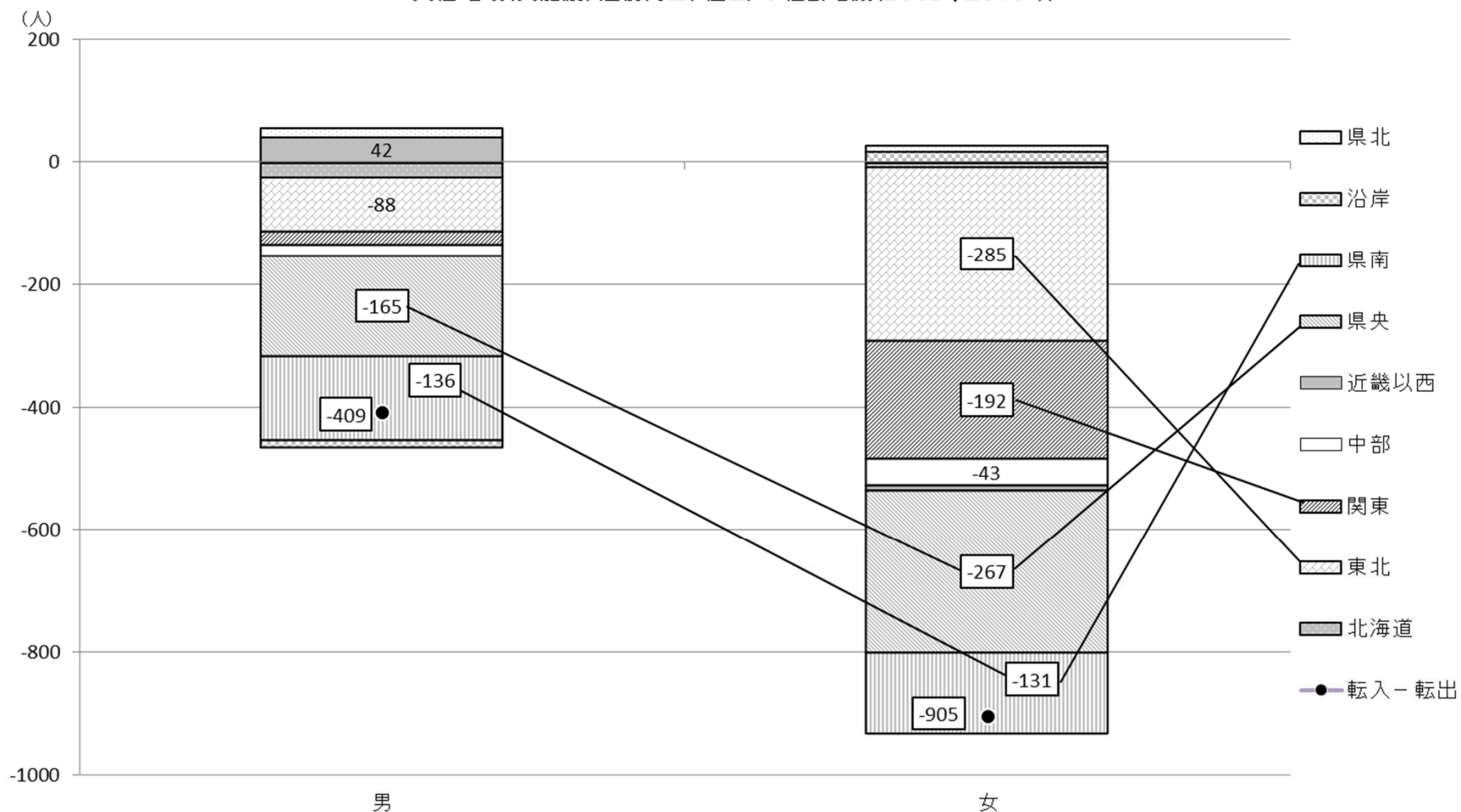
- ・大船渡市は県央・県南・沿岸へ流出、女性は関東・東北への流出も多い。
- ・陸前高田市は沿岸からの流入があるが、県央・県南、関東・東北への流出が多い。
- ・住田町は県央・県南・沿岸への流出、女性は関東・東北への流出も多い。



18. 社会増減～気仙地域の社会増減②～

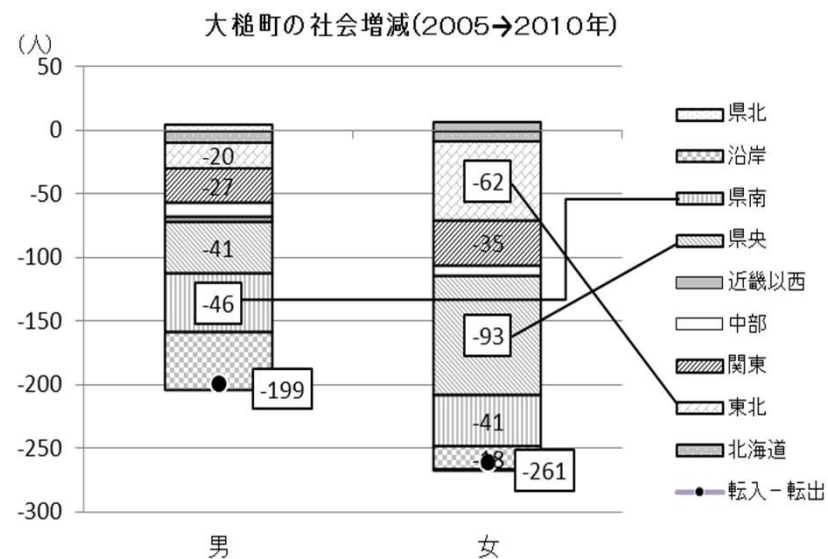
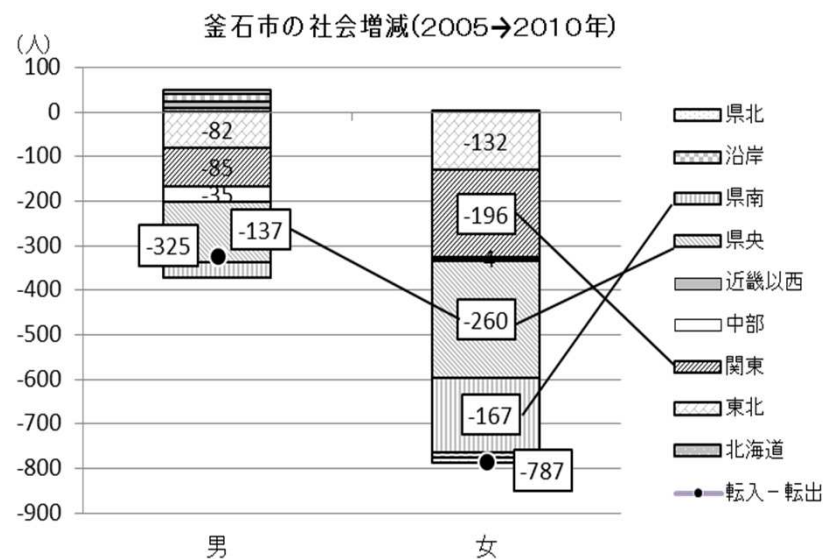
- ・ 気仙地域全体でみると、拠点機能はほぼなく、男性では県内（県央・県南）への流出が県外（関東・東北）への流出を上回っている一方、女性は県外が県内を上回っている上に流出超過が男性の2倍近くある。

気仙地域(大船渡、陸前高田、住田)の社会増減(2005→2010年)



19. 社会増減～釜石地域の社会増減①～

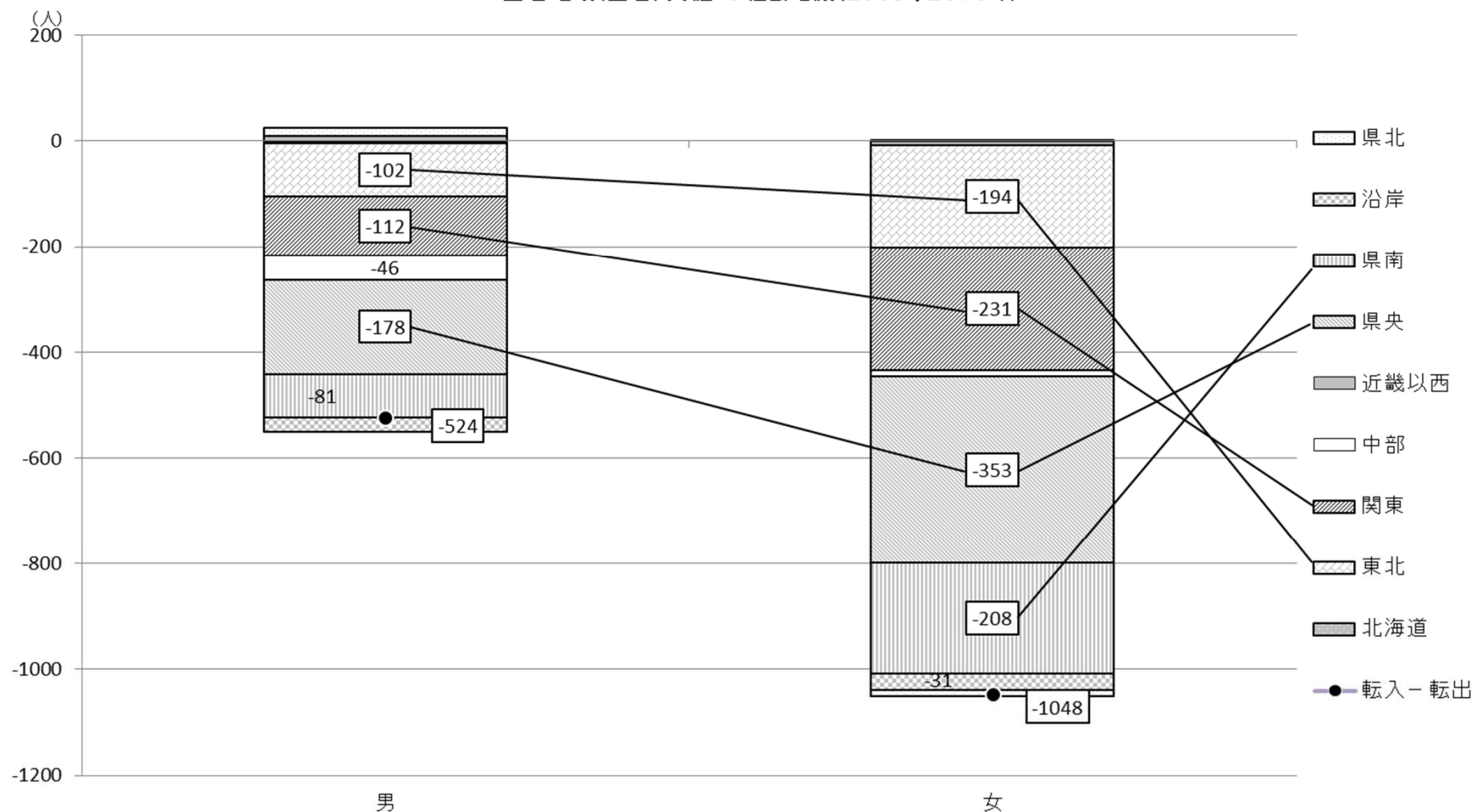
- ・ 釜石市は県央・県南、関東・東北への流出が多く、いずれも女性が男性を上回っている。
- ・ 大槌町は県央・県南・沿岸、関東への流出が多く、特に女性は東北への流出も多い。



20. 社会増減～釜石地域の社会増減②～

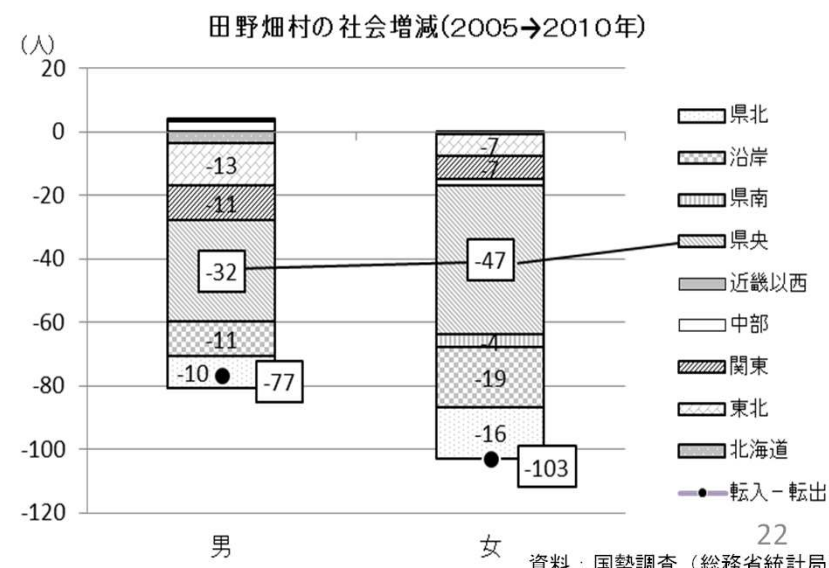
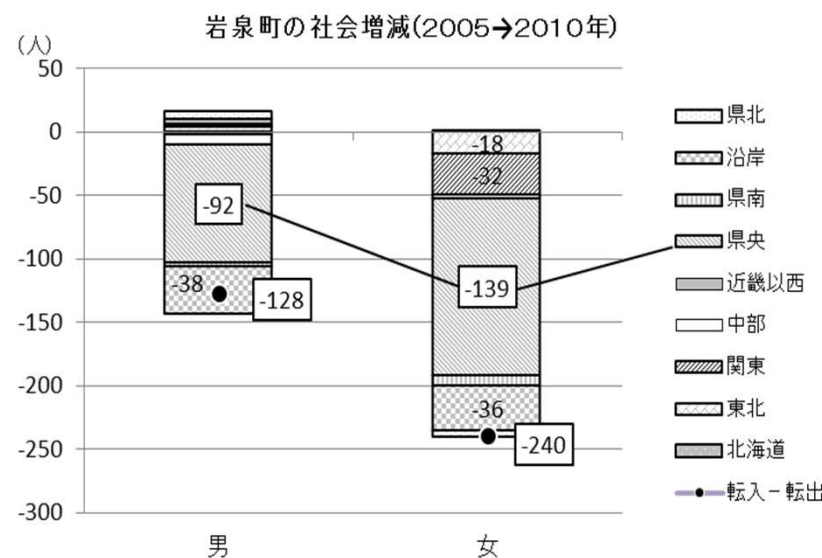
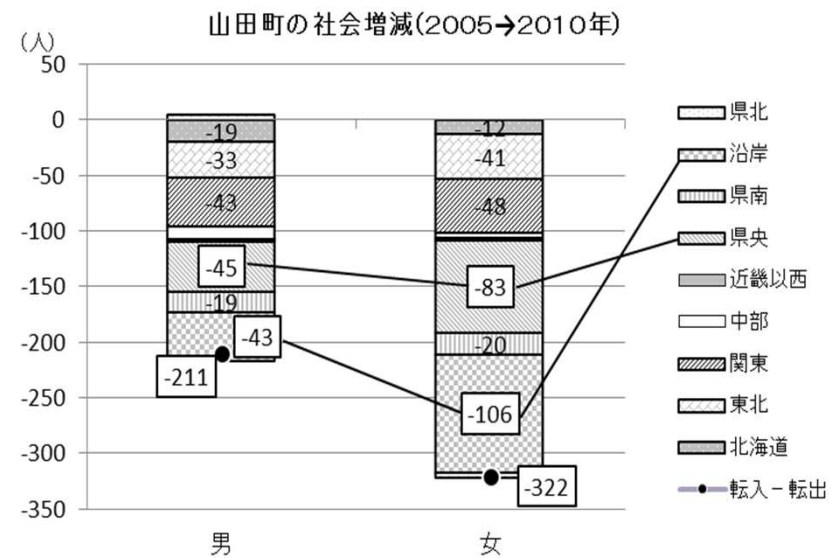
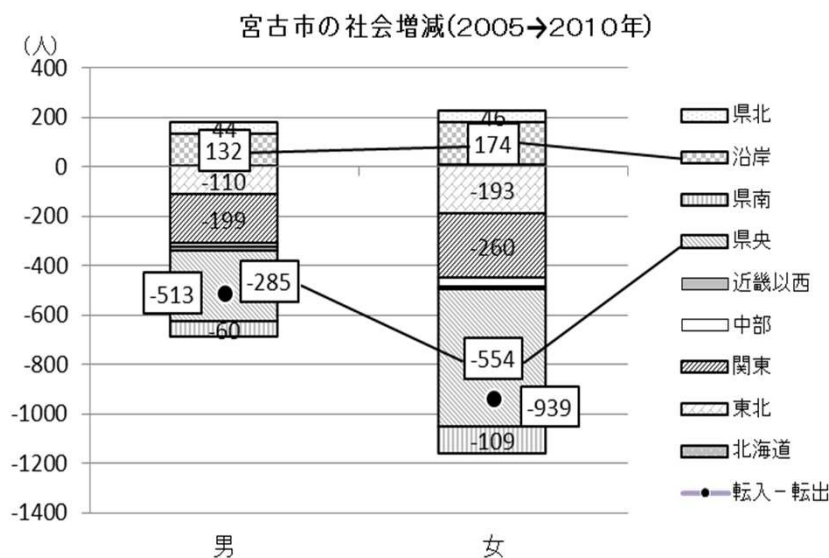
・釜石・大槌地域全体でみると、ダム機能はほぼなく、県央・県南、関東・東北への流出が多い。
気仙拠点と同様に、女性の流出が男性の2倍近くある。

釜石地域(釜石、大槌)の社会増減(2005→2010年)



21. 社会増減～宮古地域の社会増減①～

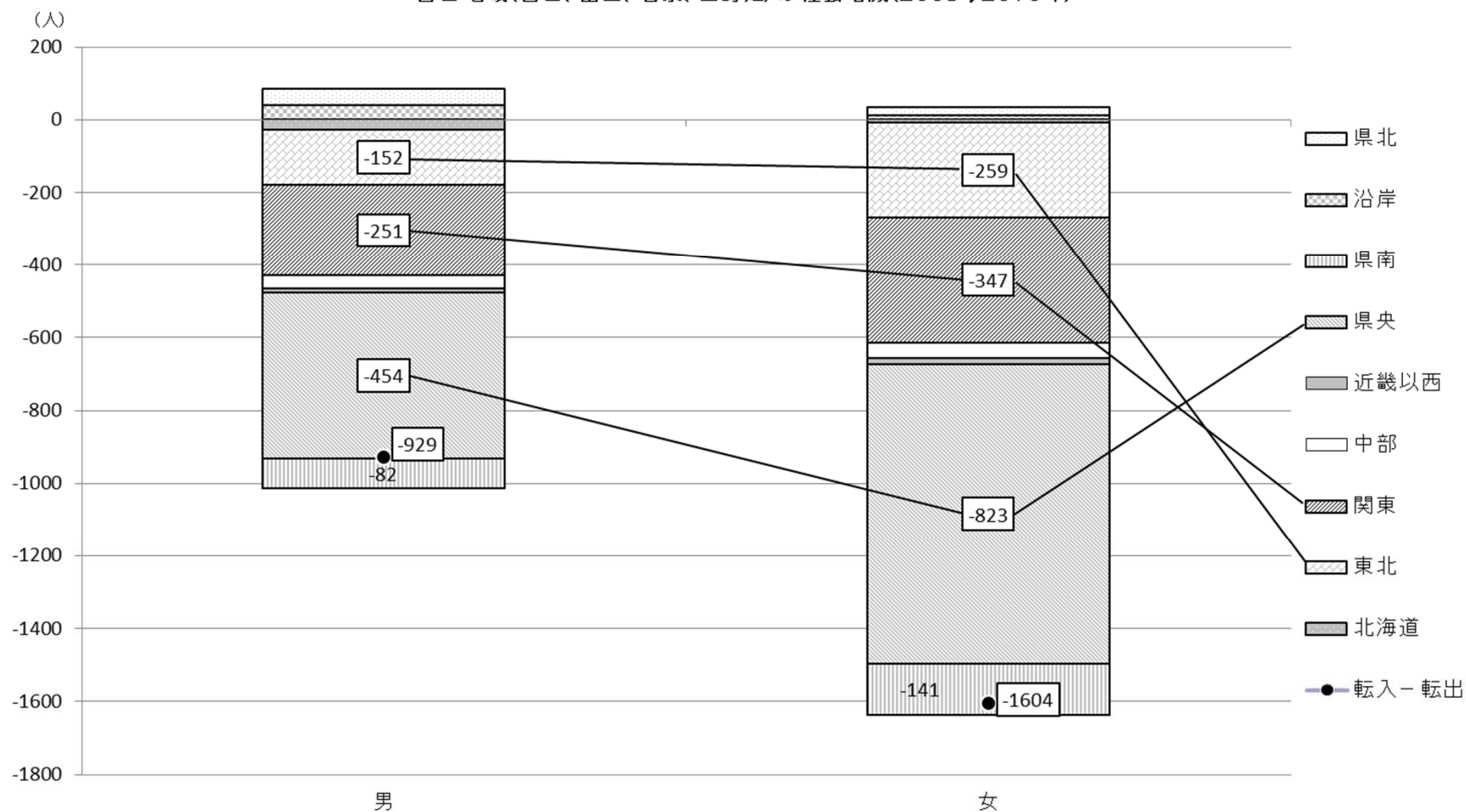
- ・ 宮古市は沿岸からの流入がある一方、県央、関東・東北への流出がある。
- ・ 山田町、岩泉町、田野畑村は県央・沿岸への流出が多い。



22. 社会増減～宮古地域の社会増減②～

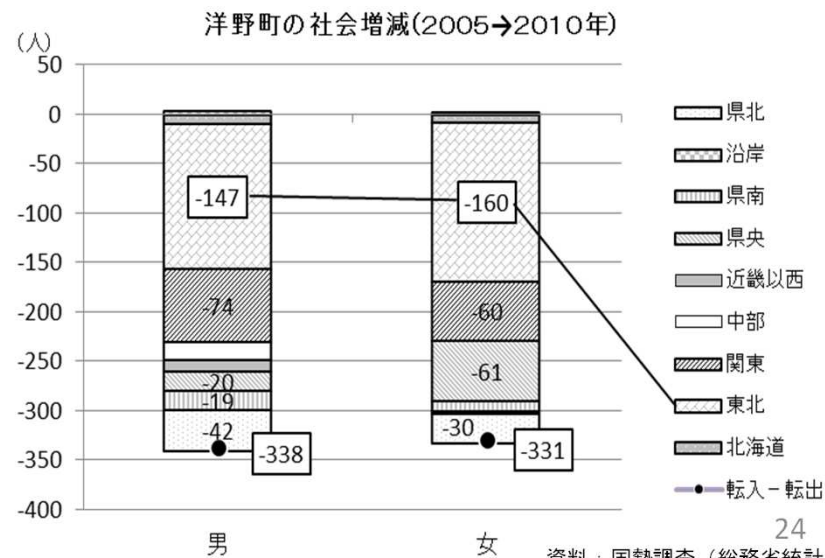
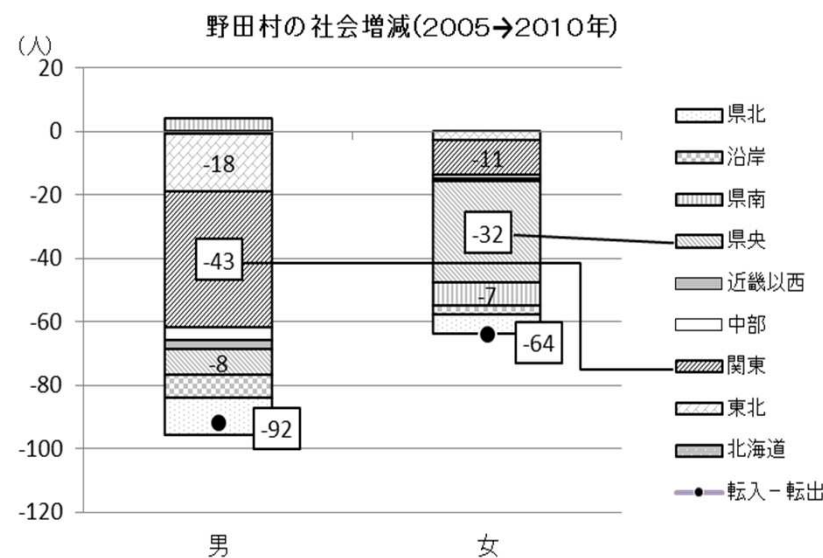
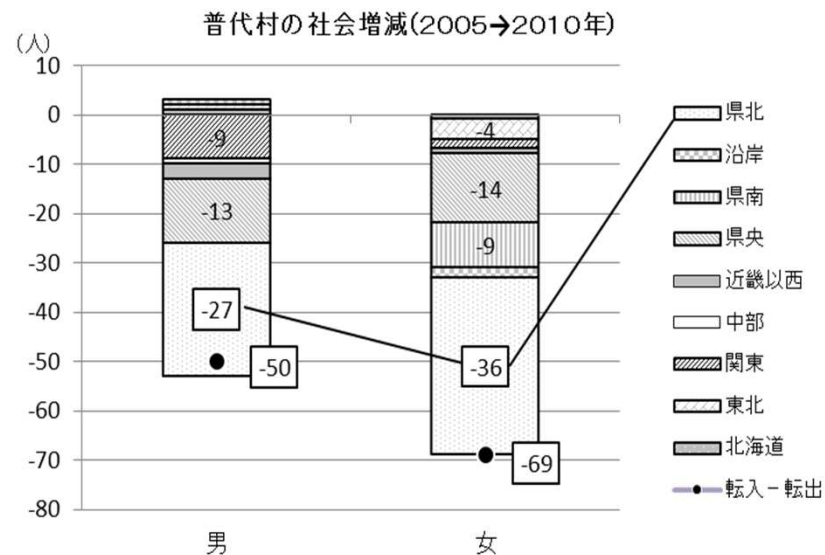
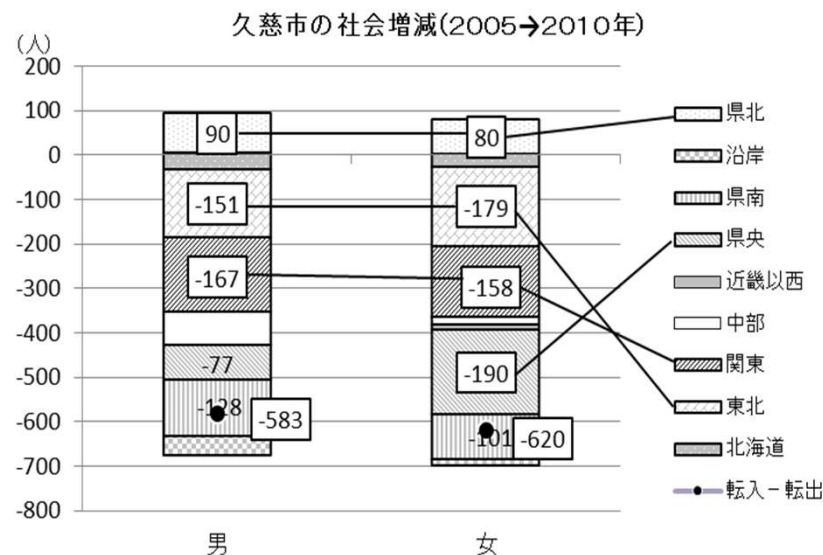
・宮古地域全体でみると、男性で沿岸・県北からの流入があるが、拠点機能は弱く、県央、関東・東北への流出が多い。女性の県央への流出は男性の2倍近い。

宮古地域(宮古、山田、岩泉、田野畑)の社会増減(2005→2010年)



23. 社会増減～久慈地域の社会増減①～

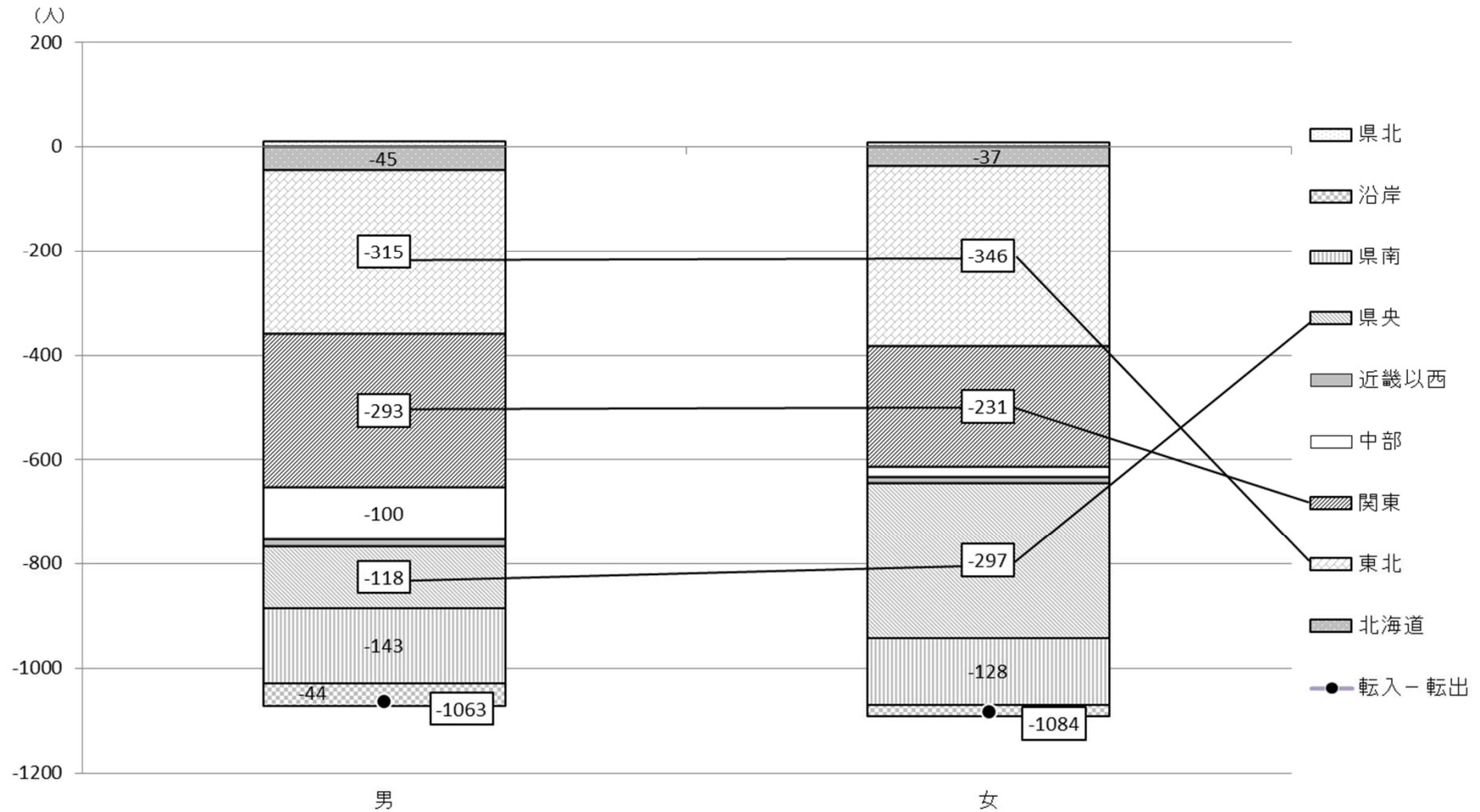
・久慈市は県北から流入があるが、県央・県南、関東・東北への流出が多い。普代村は県北、野田村の男性は関東、女性はいずれも県央、洋野町は県北、東北への流出が多い。



24. 社会増減～久慈地域の社会増減②～

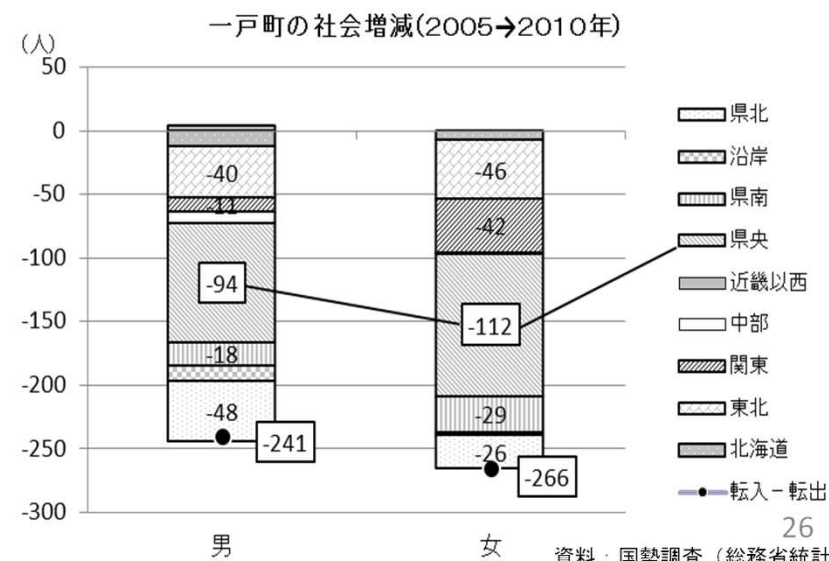
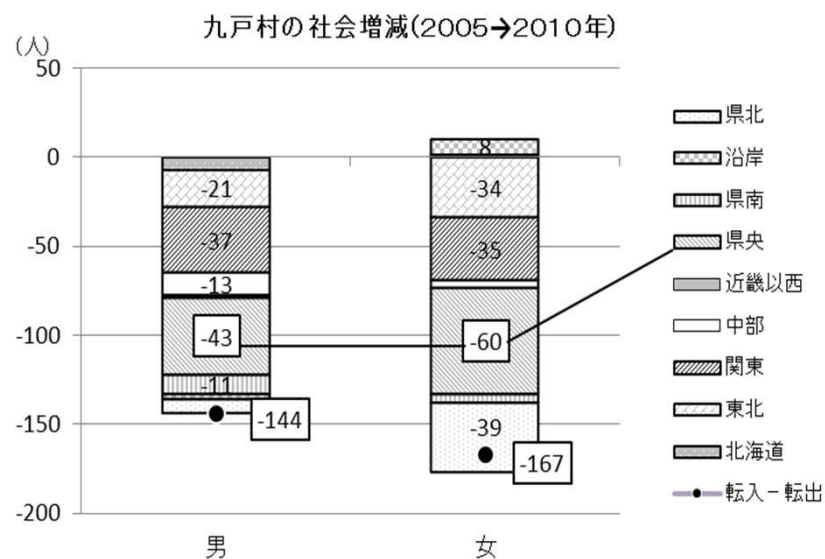
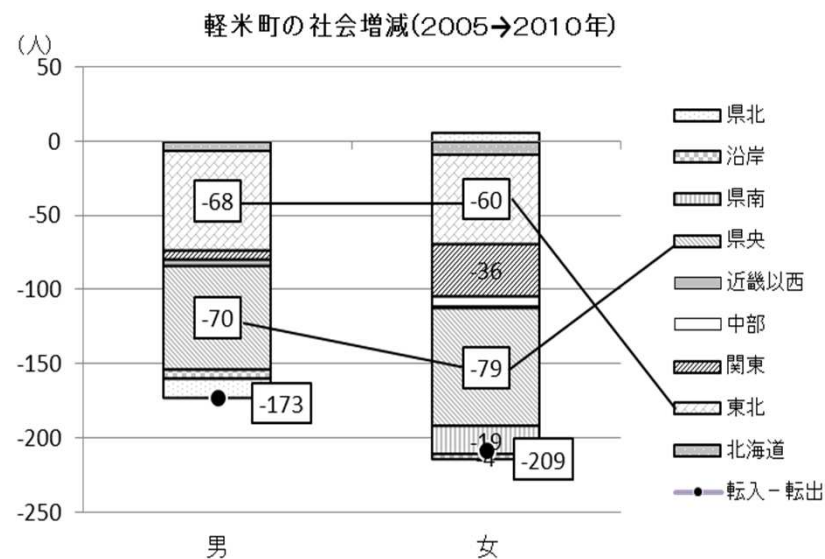
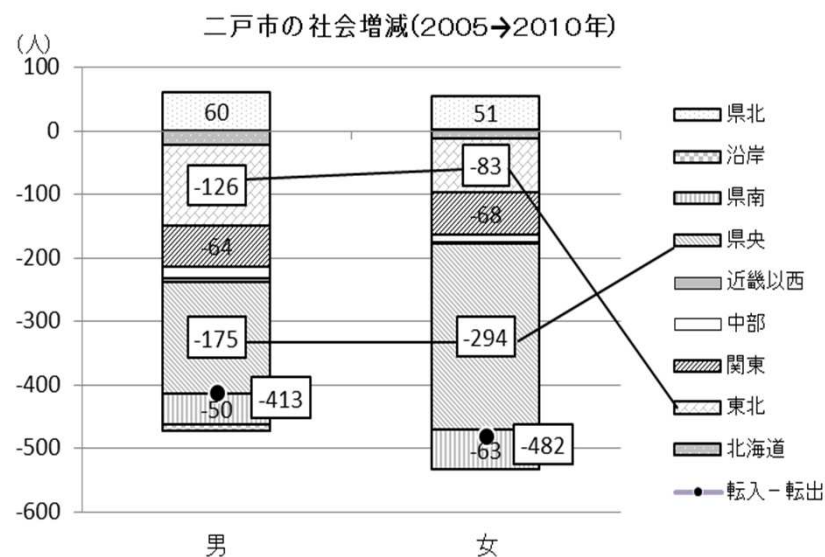
・久慈地域全体でみると、拠点機能はほぼなく、県央・県南、関東・東北が多い。女性の県央への流出は男性の2.5倍もあるが、全体では男女の流出差が少ない。

久慈地域(久慈、普代、野田、洋野)の社会増減(2005→2010年)



25. 社会増減～二戸地域の社会増減①～

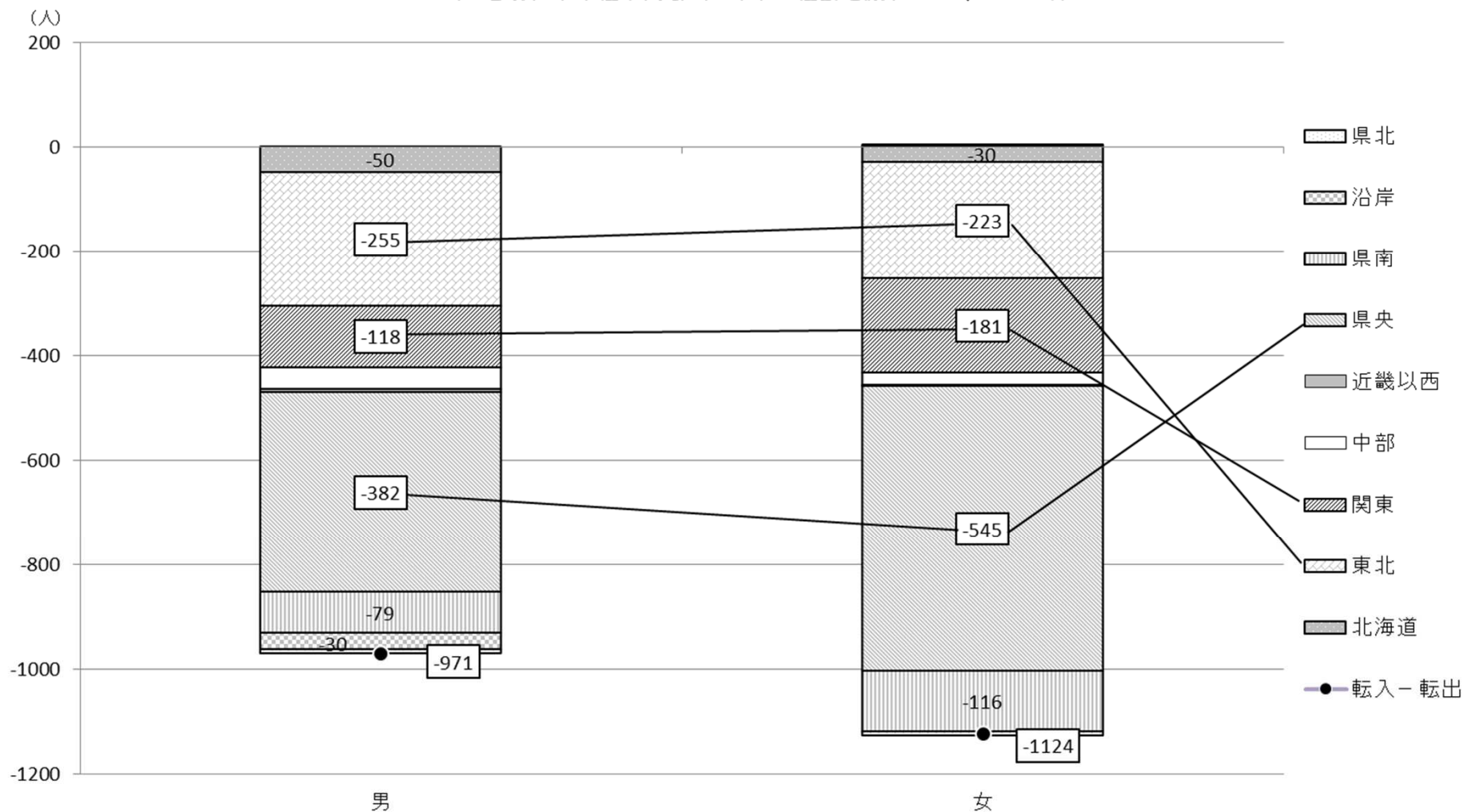
・二戸市は県北からの流入があるが、県央・県南、関東・東北への流出が多い。軽米町は、県央、関東・東北、九戸村、一戸町は県央・県北、関東・東北への流出が多い。



26. 社会増減～二戸地域の社会増減②～

・二戸地域全体でみると、拠点機能はなく、県央・県南、関東・東北への流出が多い。女性の流出は男性より1割以上多い。

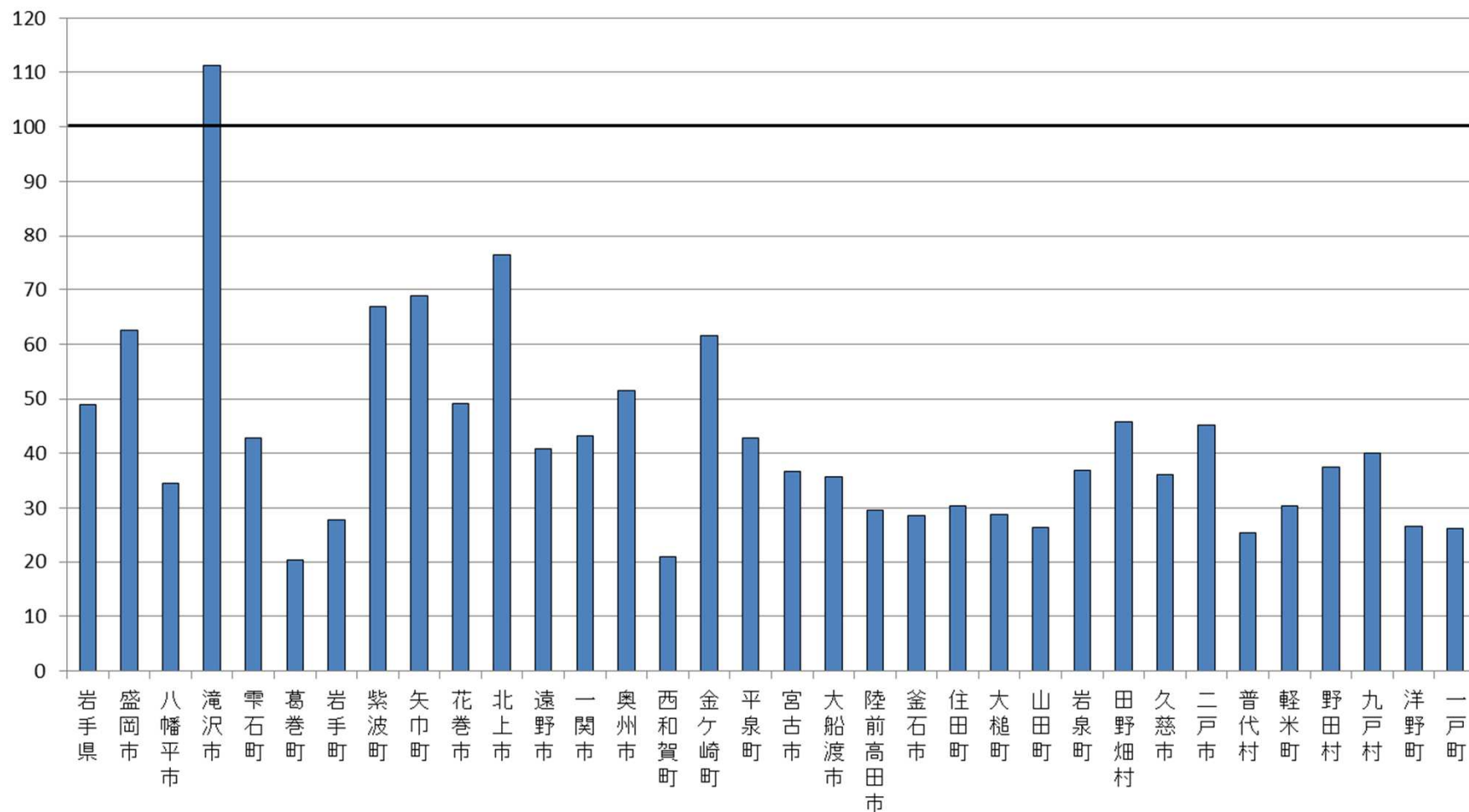
二戸地域(二戸、軽米、九戸、一戸)の社会増減(2005→2010年)



27. 自然増減～出生数の減少～

・出生数を30年前と比べると、滝沢市を除いて大幅に減少しており、30年前の3割以下の水準まで減少しているのは10市町村に及ぶ。

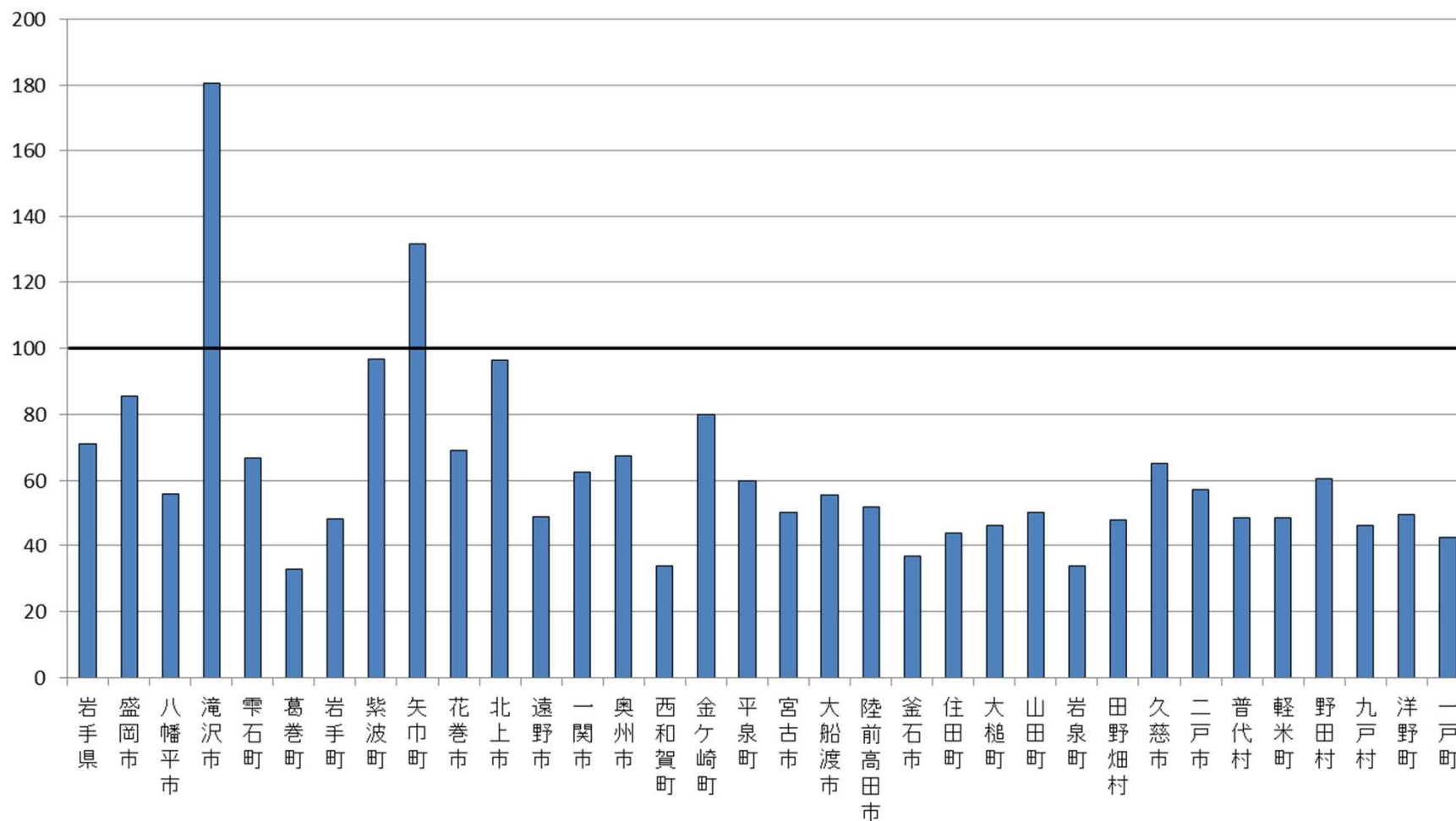
出生数の推移(2013年、1981年=100)



28. 自然増減～15～49歳女性人口の減少～

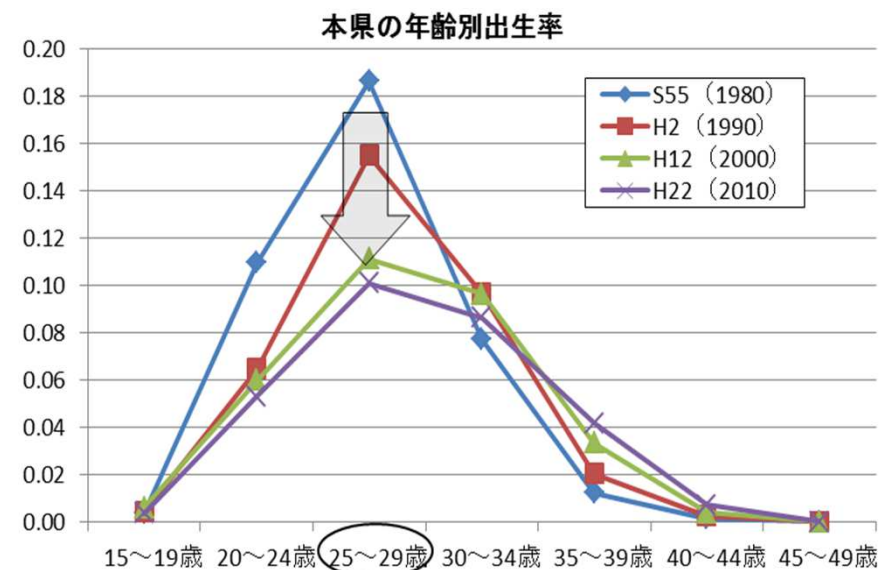
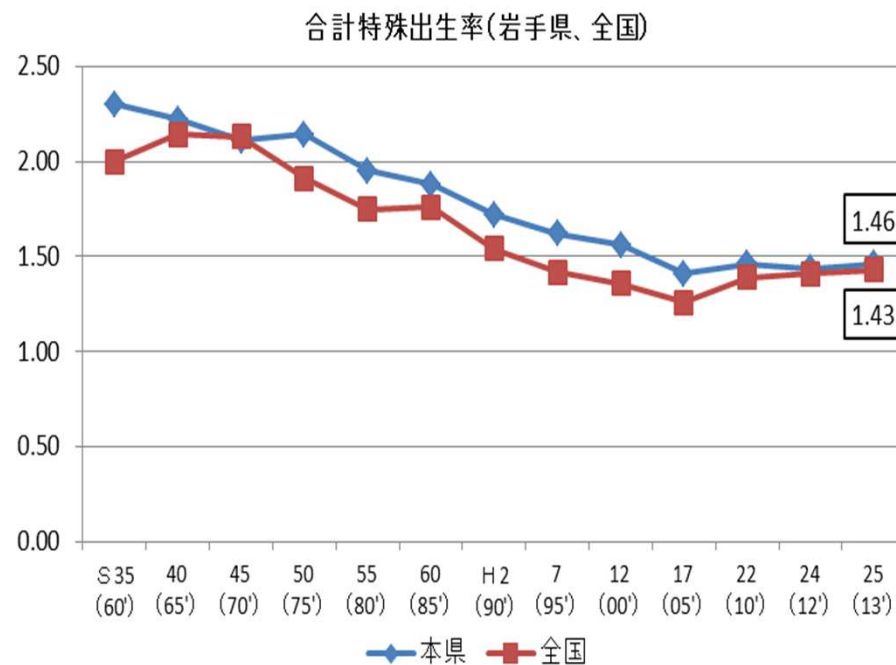
・出生数の減少の第1の要因は、15～49歳の女性人口の減少である。過去の自然減と社会減の影響で、30年前と比べると、多くの市町村で子どもを生む親世代そのものが減少している。

15～49歳の女性人口の変化(2010年、1980年=100)



29. 自然増減～合計特殊出生率の低下と年齢別出生率～

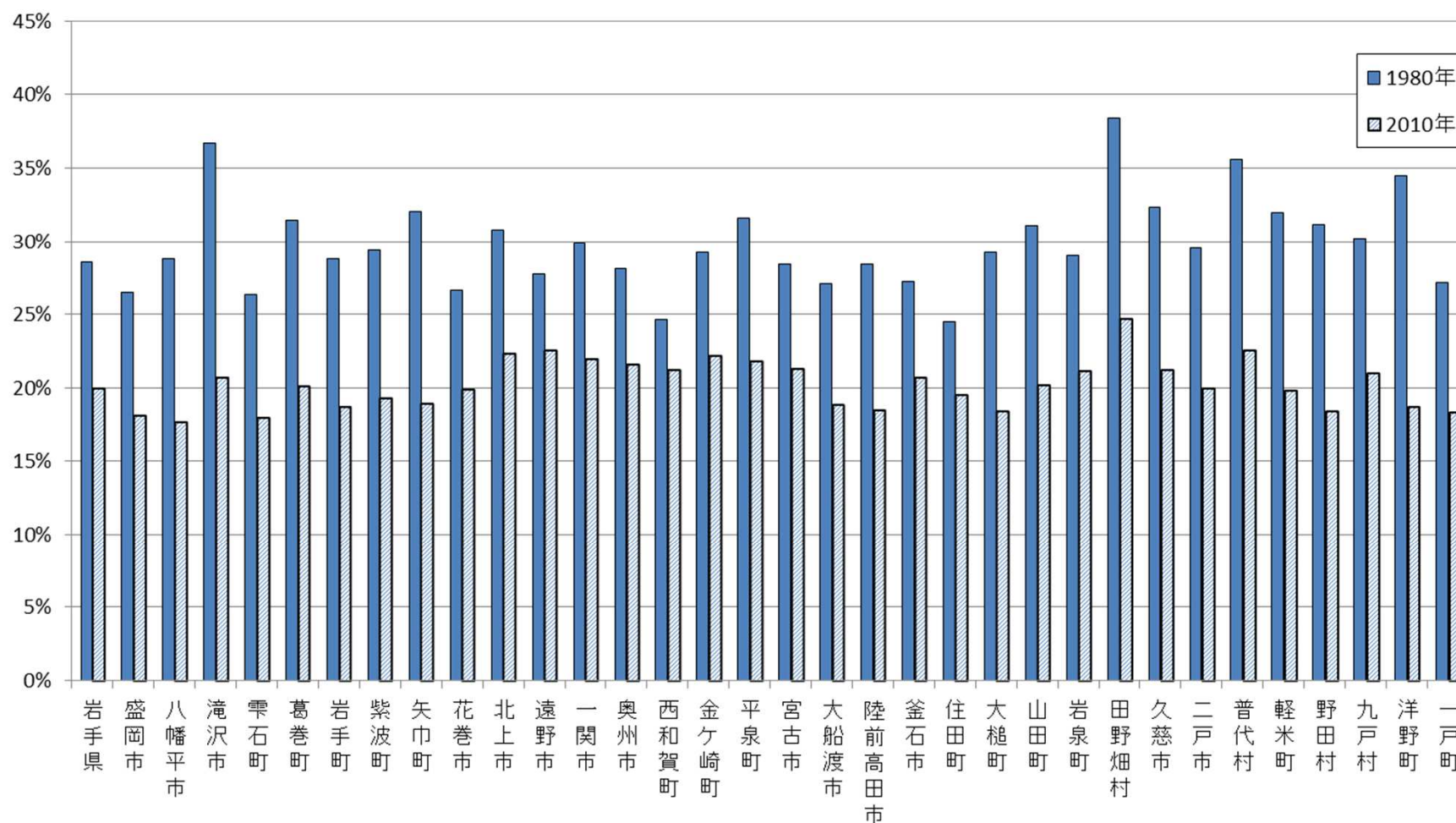
・ 出生数の減少の第2の要因は出生率の低下である。本県の合計特殊出生率は80年代以降、2.0以下の水準に低下した。年齢別では20代で大きく低下している。



30. 自然増減～市町村別の出生率(子ども女性比)の低下～

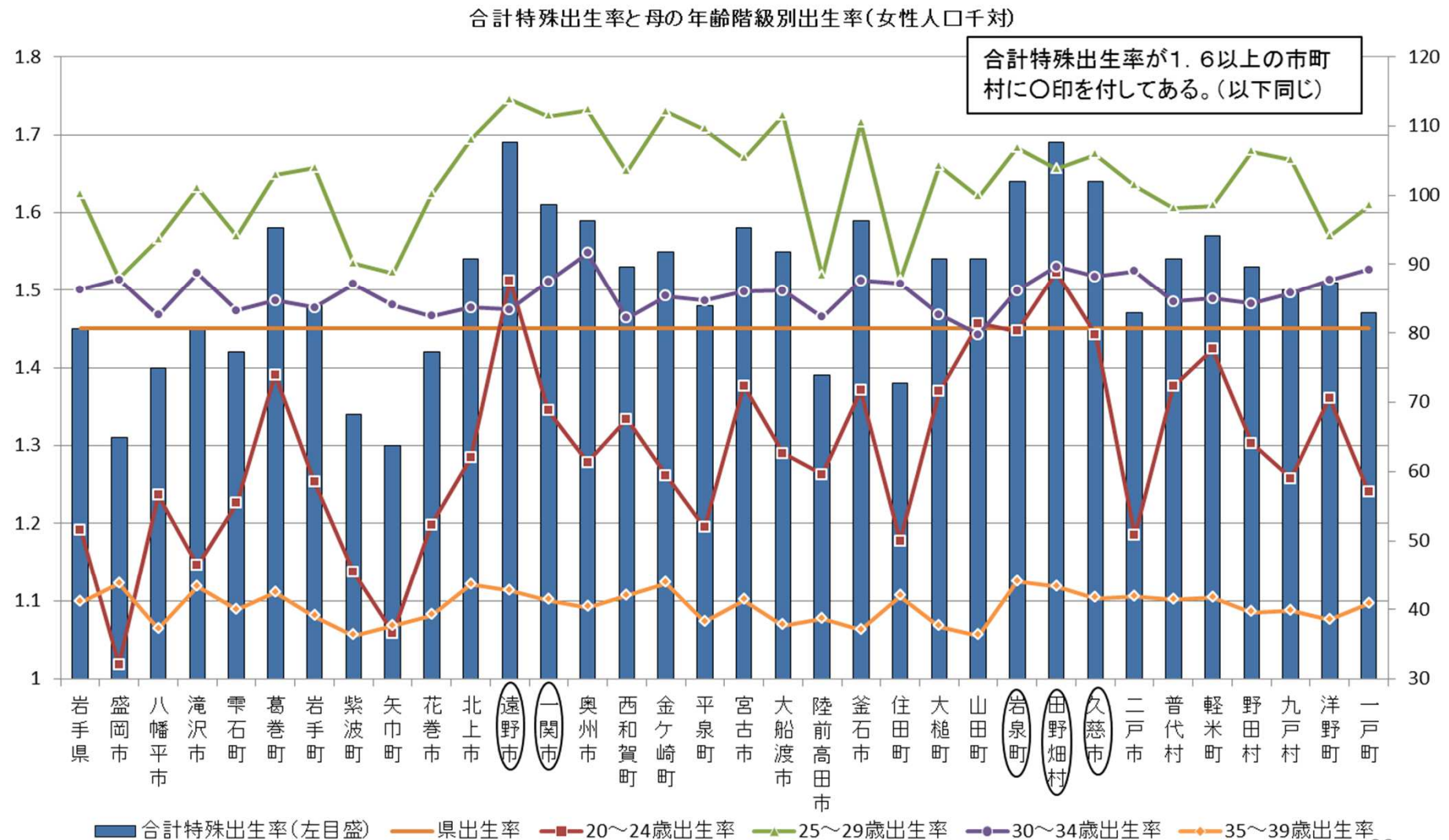
・ 15～49歳女性人口に占める0～4歳人口の比率である子ども女性比をみると、30年前と比べていずれの市町村も低下しており、出生率の低下が進んでいる。

子ども女性比の変化(1980・2010年、0～4歳人口の15～49歳女性人口に占める割合)



31. 自然増減～市町村別合計特殊出生率と年齢別出生率～

・市町村別の合計特殊出生率（平成20～24年平均、推計値）をみると、20代の出生率が高い市町村では合計特殊出生率が高い傾向にある。

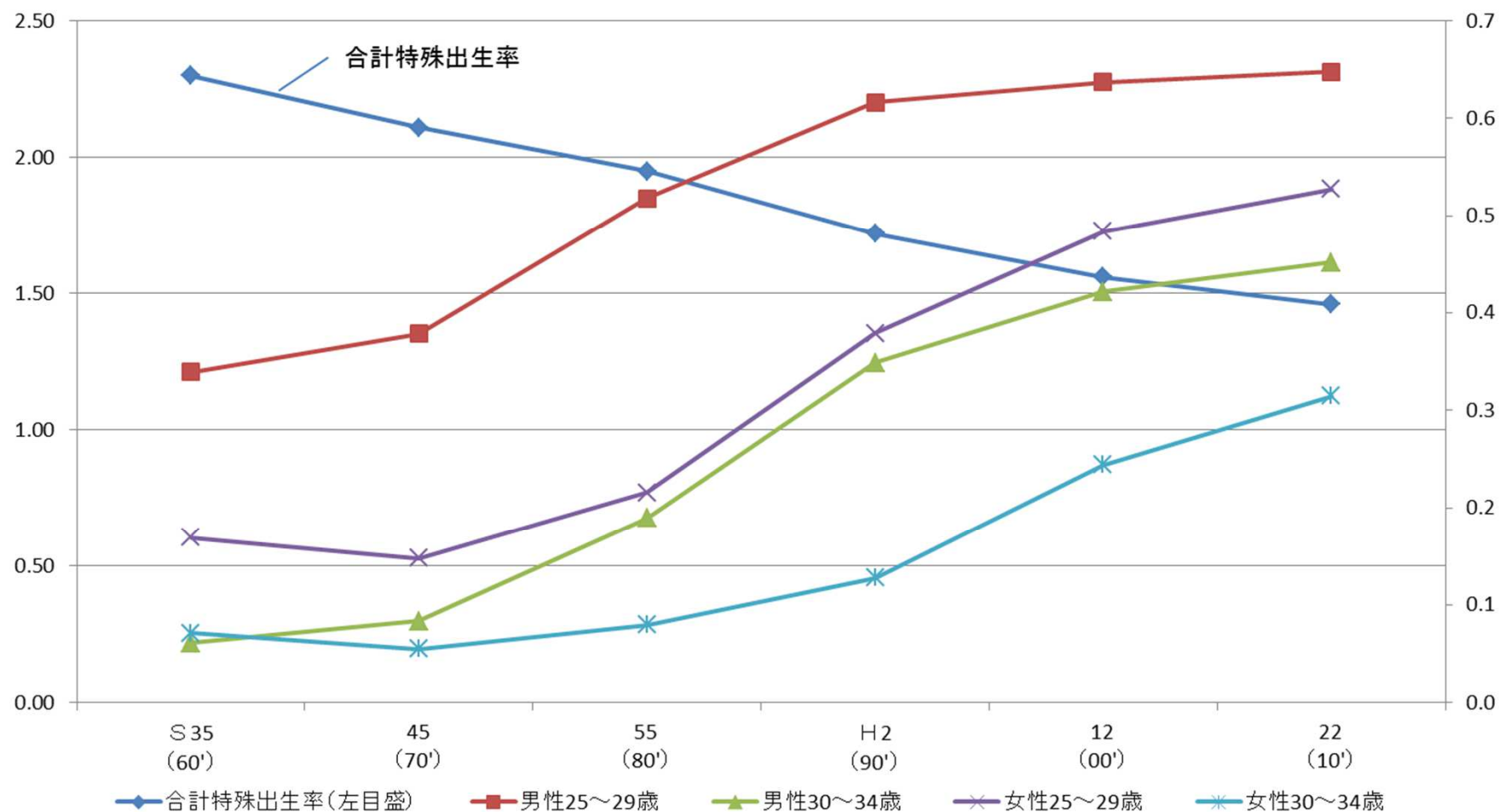


資料：人口動態統計（厚生労働省）

32. 自然増減～出生率の低下と未婚率の上昇～

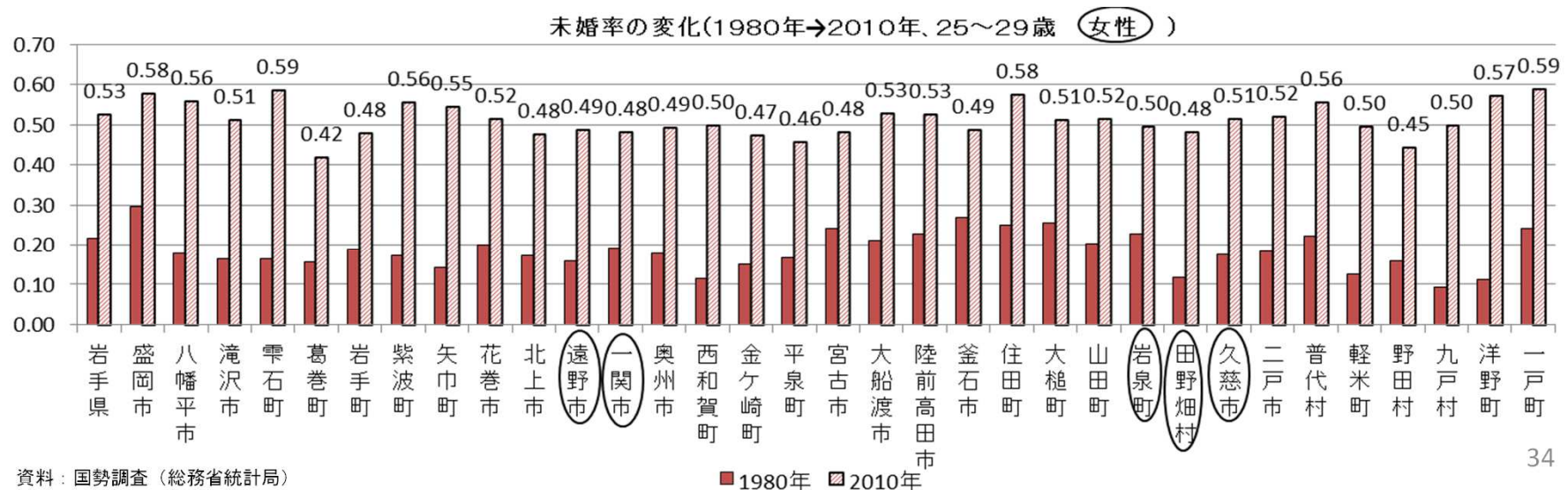
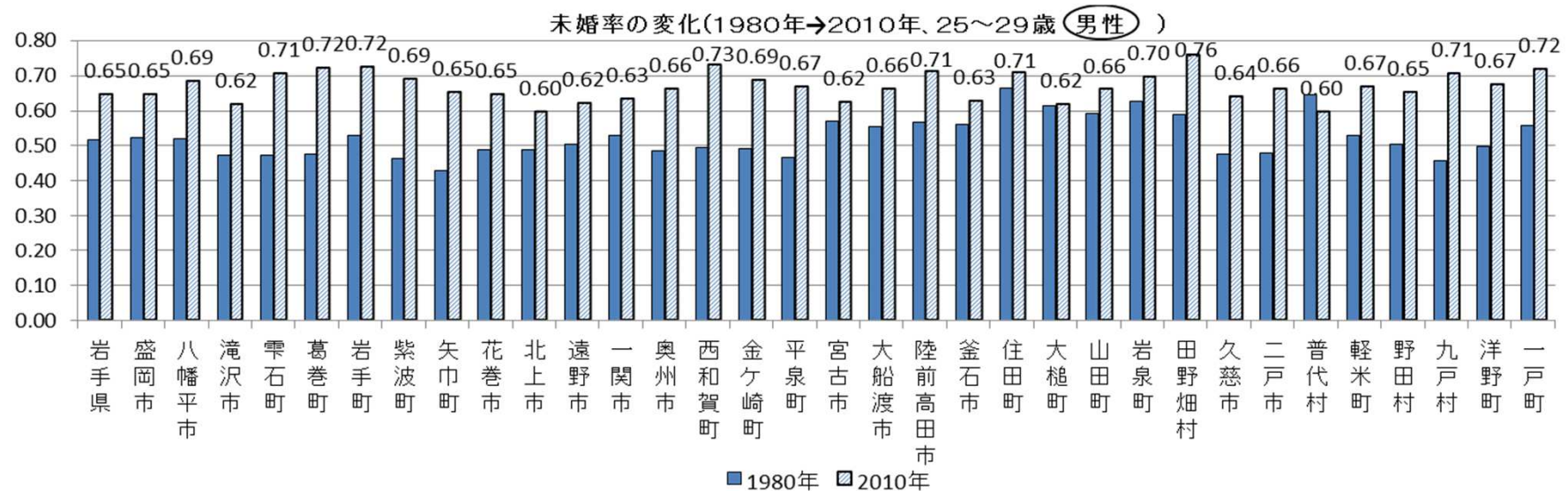
・出生率低下の要因としては第1に未婚率の上昇がある。本県の出生率と未婚率の推移をみると、未婚率の上昇とともに出生率が低下している。

合計特殊出生率と未婚率(岩手県)



33. 自然増減～市町村別の未婚率(25～29歳)の上昇～

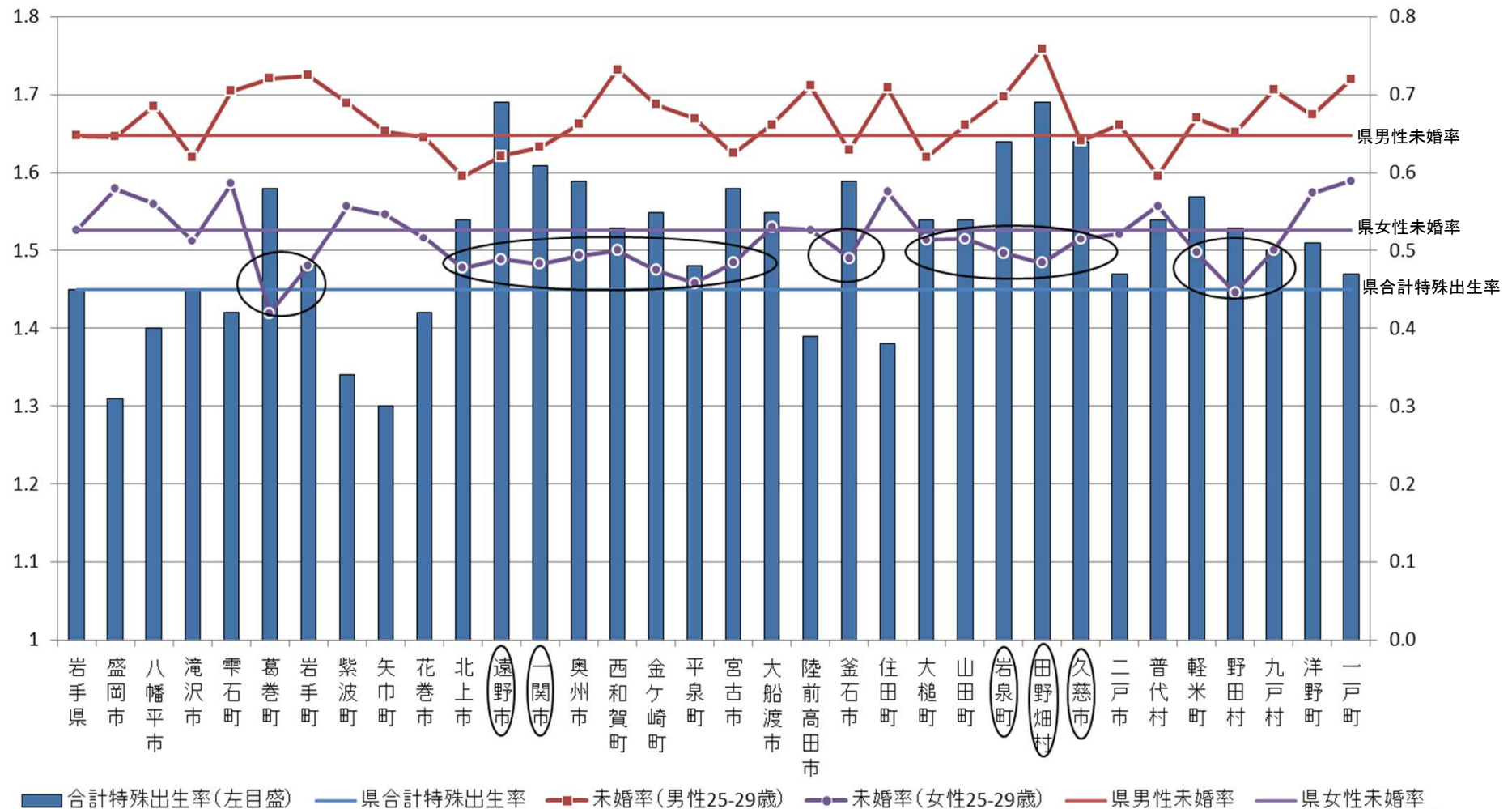
・市町村別の未婚率(25～29歳)を30年前と比べると、全ての市町村で大幅に上昇している。特に女性の上昇幅が大きい。



34. 自然増減～市町村別の出生率と未婚率～

・市町村別に出生率と未婚率の関係をみると、20代後半の女性の未婚率が県平均より低い市町村は、合計特殊出生率が県平均より総じて高い傾向にある。

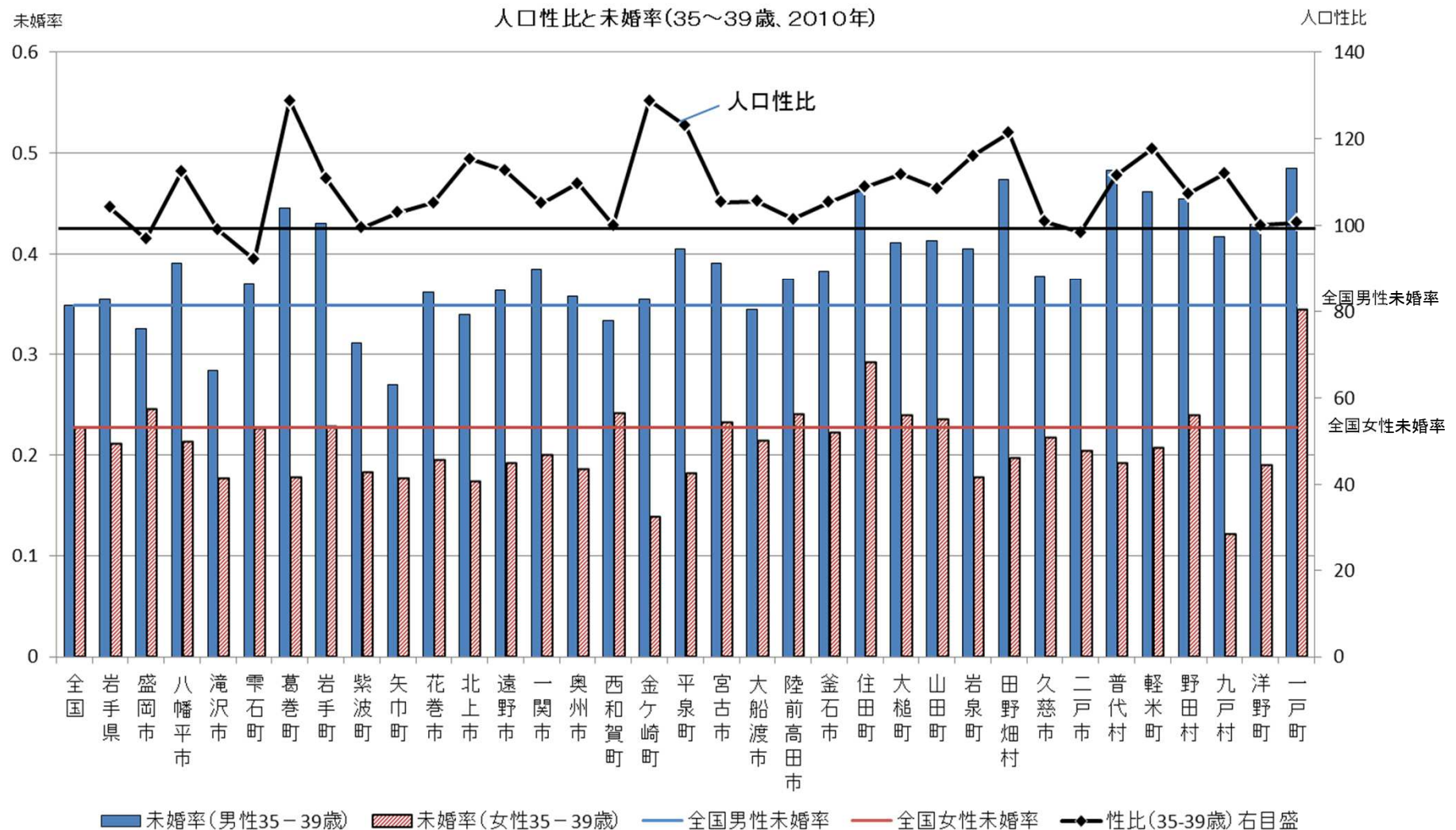
合計特殊出生率と未婚率(出生率はH20～24年平均、未婚率はH22年)



資料：人口動態統計（厚生労働省）、国勢調査（総務省統計局）

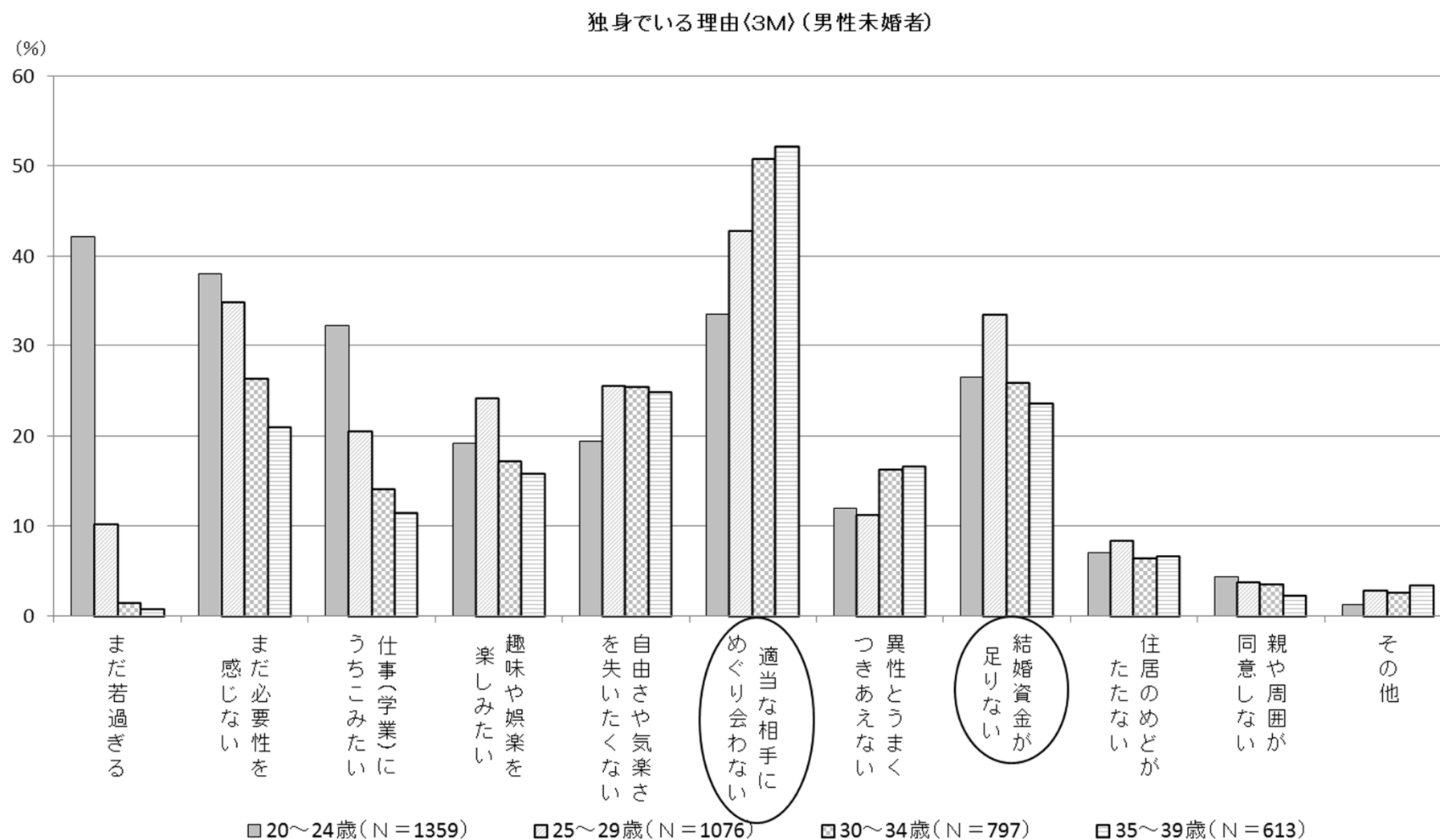
35. 自然増減～市町村の人口性比と未婚率(35～39歳)～

・人口性比が100を超えている市町村では、男性未婚率が全国平均より高いところが多い。未婚男性の増加も人口減少の要因となる。



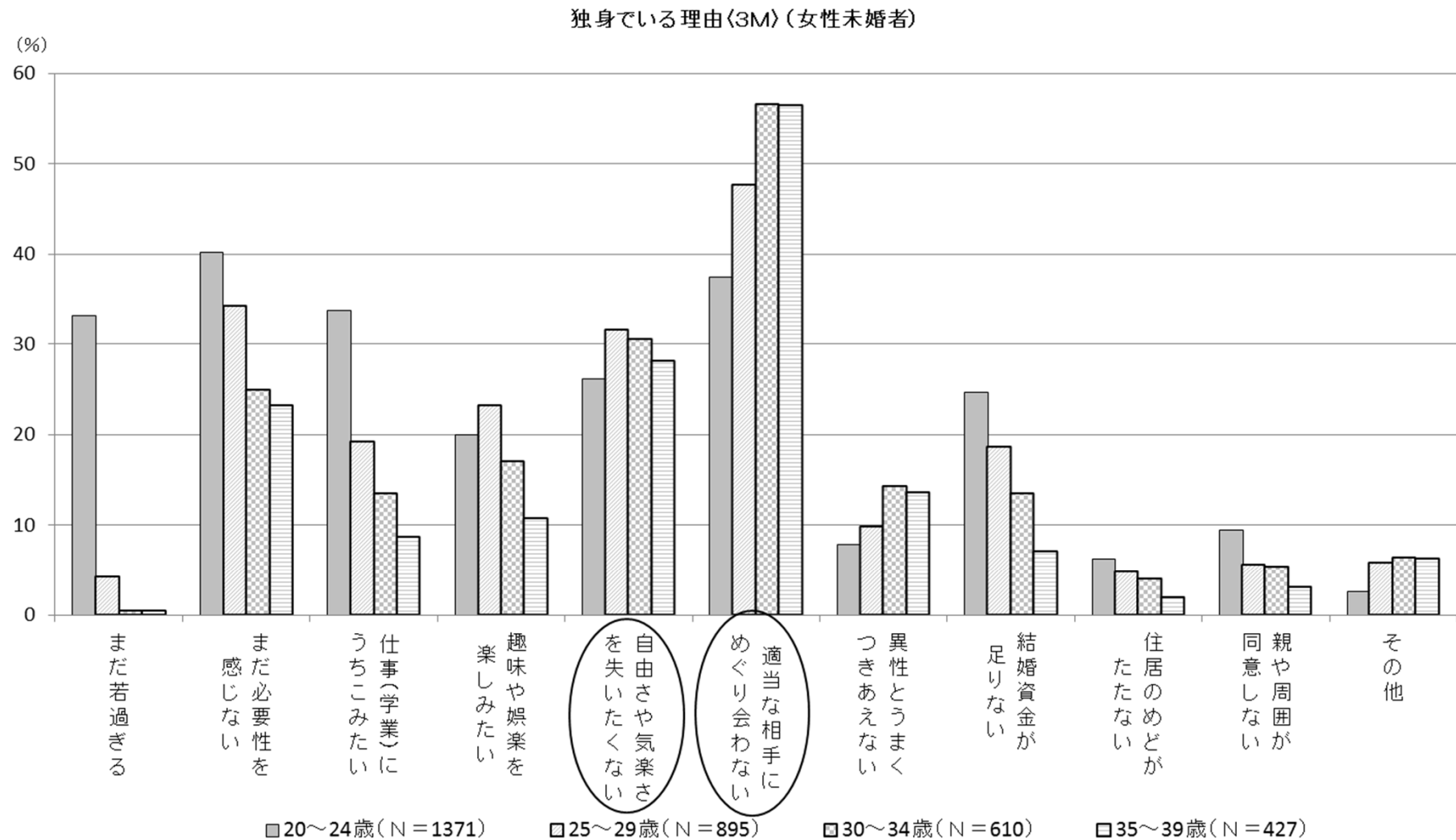
36. 自然増減～結婚しない理由(男性)～

・未婚の理由を全国調査でみると、男性未婚者が独身でいる理由は、年齢が高くなるほど「適当な相手にめぐり会わない」が多い。また「結婚資金が足りない」は20代後半で3割を超えている。



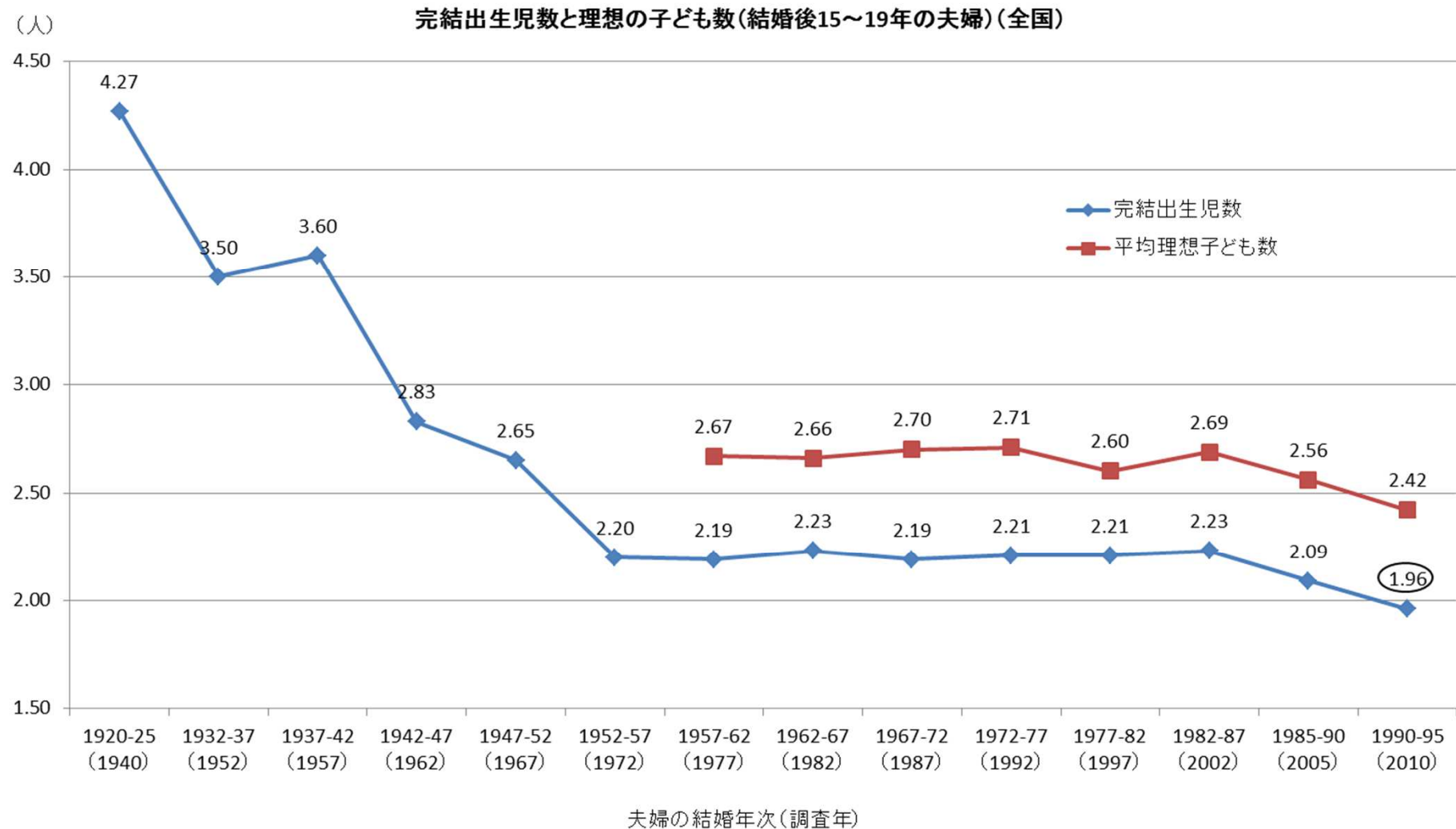
37. 自然増減～結婚しない理由(女性)～

- ・女性未婚者が独身でいる理由は、男性と同様に「適当な相手にめぐり会わない」が多いが、「自由や気楽さを失いたくない」の割合が男性より高い。



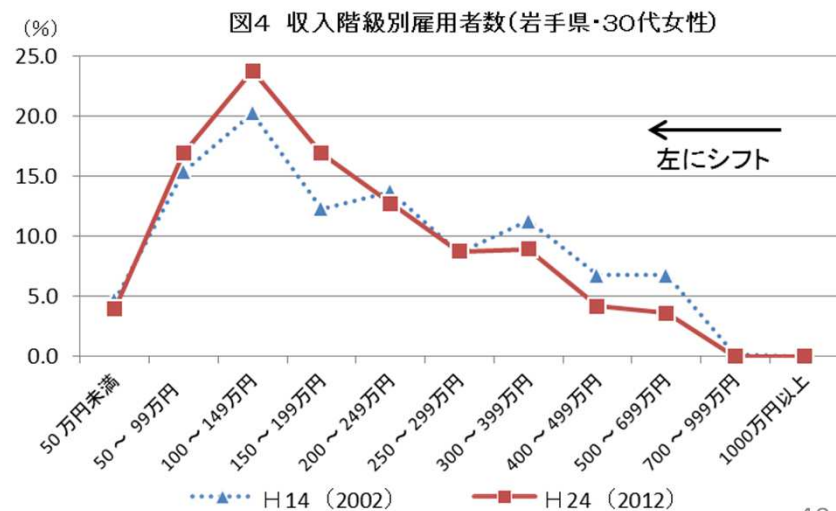
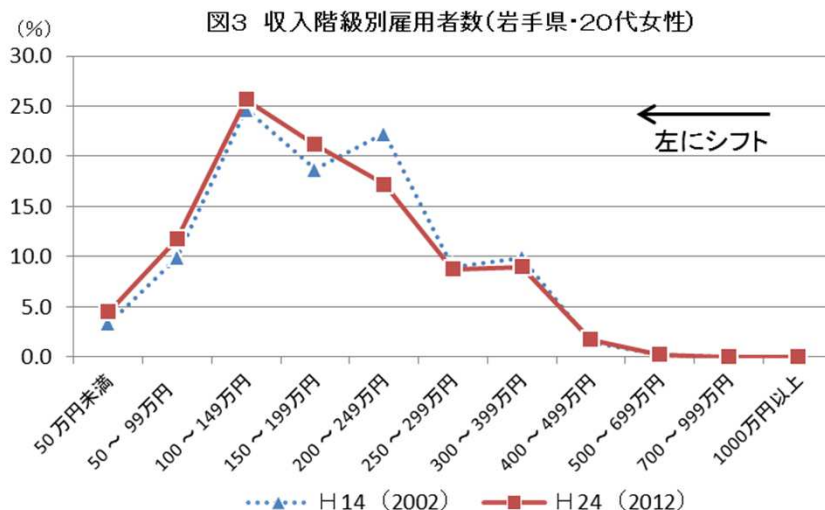
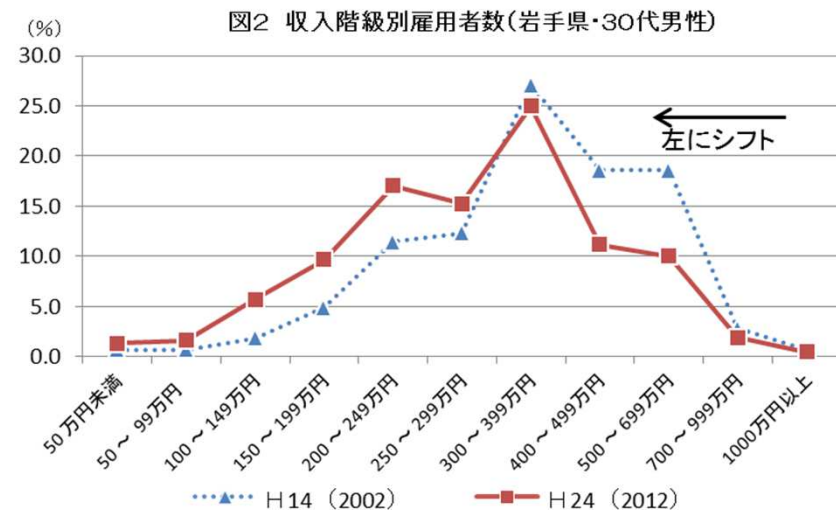
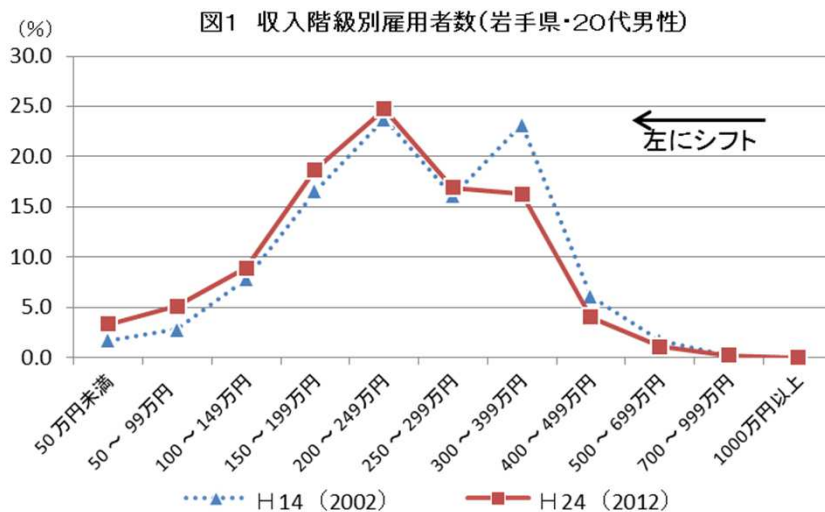
38. 自然増減～完結出生児数～

・出生率低下の第2の要因は、完結出生児数（結婚後15～19年の夫婦の平均出生子ども数）の減少である。全国調査によると、長年2.2程度で安定していたが、2010年に初めて2.0人を下回った。



39. 子育て世代の所得水準の低下

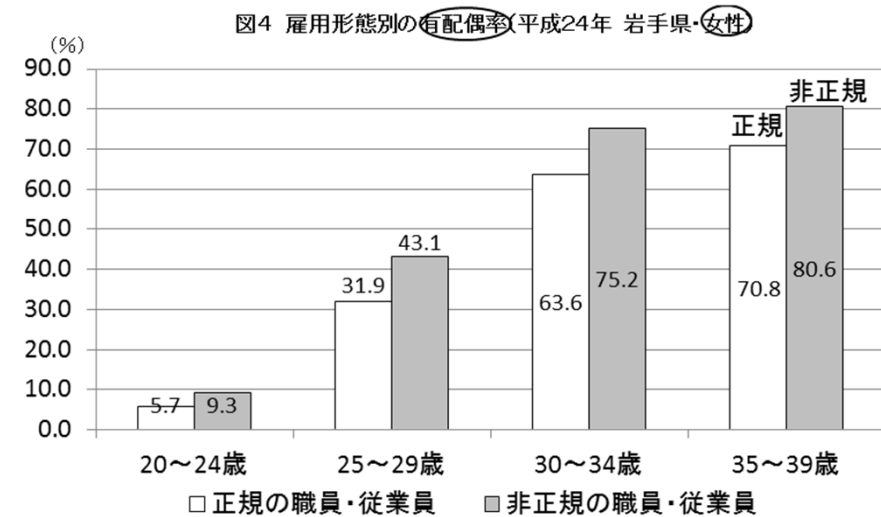
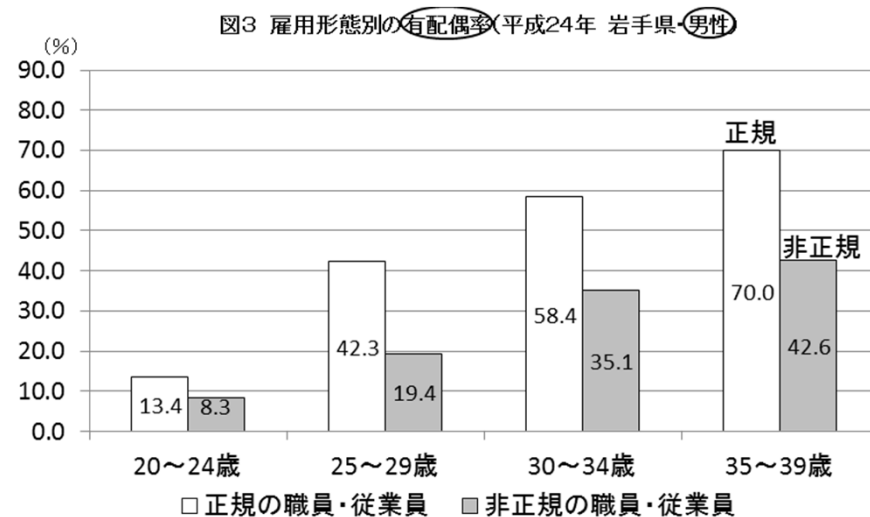
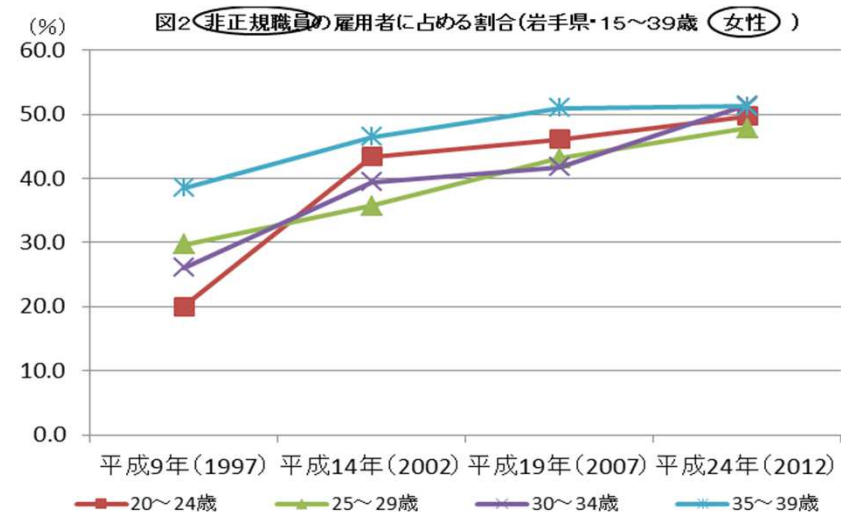
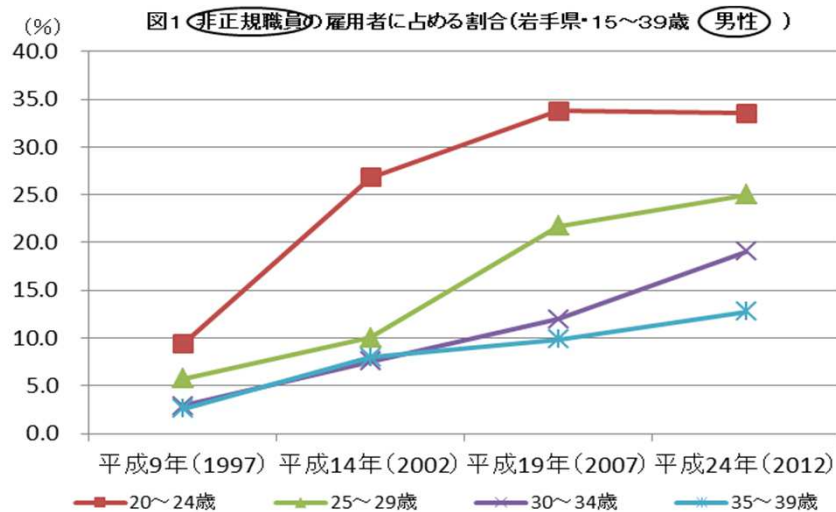
・所得水準の低下が、社会減の拡大や未婚率の上昇に関係している可能性がある。20代から30代の子育て世代の所得分布は、10年前より低所得層にシフトしている。



資料：就業構造基本調査（総務省統計局）

40. 非正規雇用者の増加

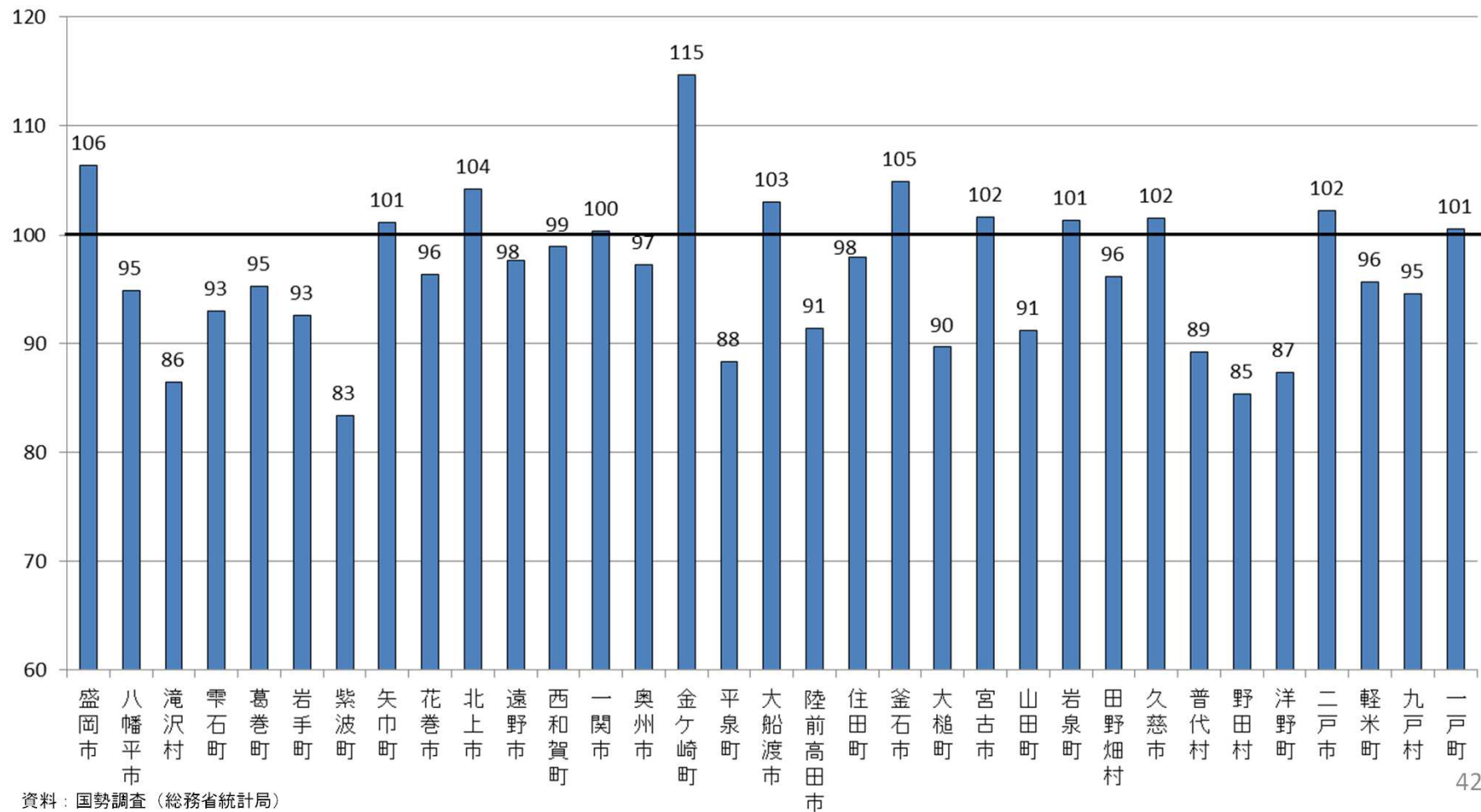
・男女とも非正規雇用の割合が上昇している。男性の非正規の職員・従業員は、正規の職員・従業員より有配偶率が低い。不安定な雇用形態が未婚率の上昇の要因となっている可能性がある。



41. 市町村のつながり～昼間人口比率～

- ・ 昼間人口比率をみると住民の生活実態からみた市町村のつながりが分かる。100を超えている市町村は雇用や高等教育の場を、100を下回る市町村は労働力や購買力を提供している。
- ・ 住民からみて暮らしや仕事面でつながりの深い市町村同士が連携し、共同で自然減・社会減の対策にあたることが有効ではないか。

昼間人口比率(2010年)



42. 市町村のつながり～通勤・通学からみたつながりの強さ～

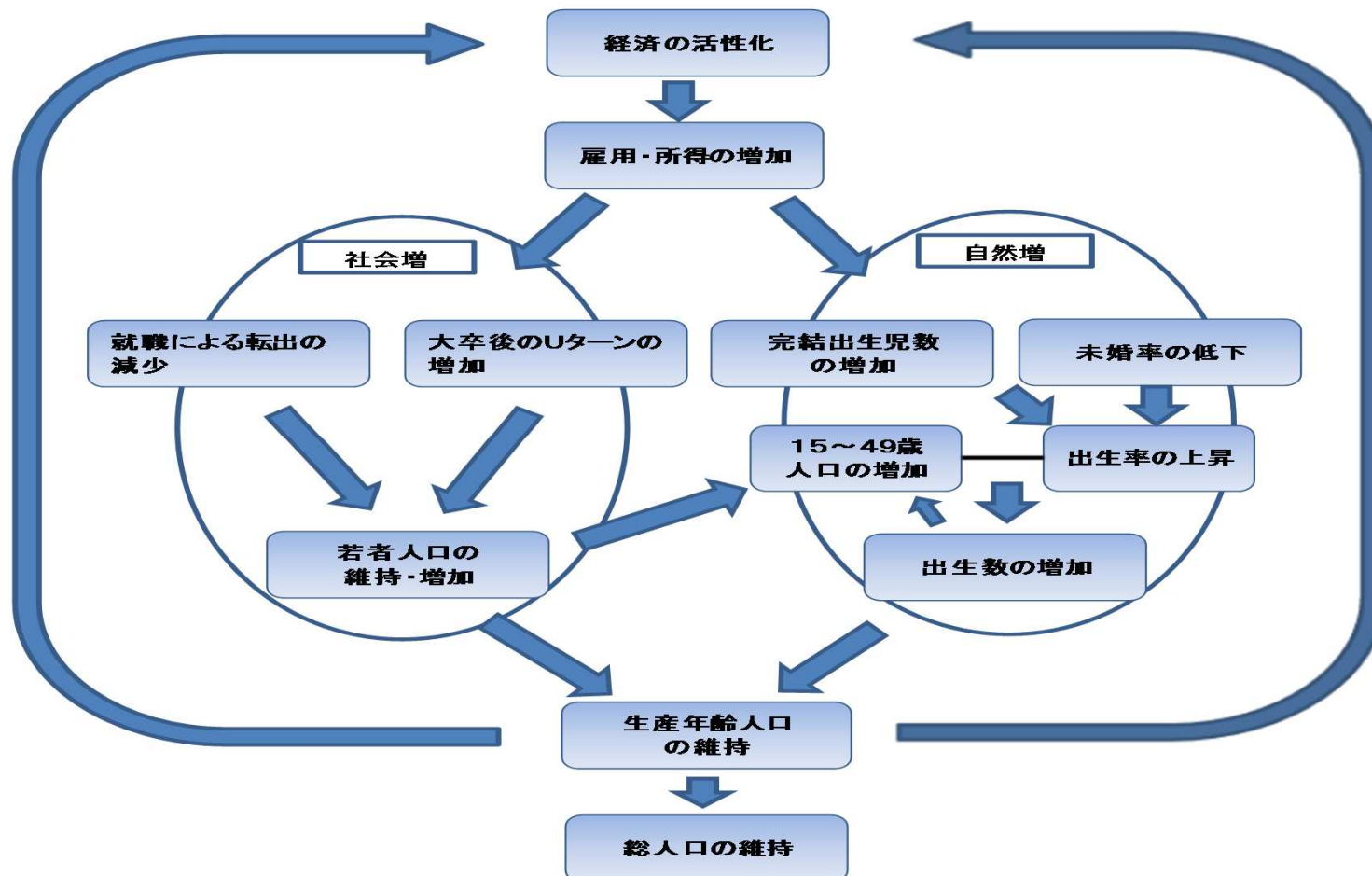
・通勤・通学者数をもとに地域のつながりの強い市町村をグループ化してみると、おおむね8つの地域圏に区分される。

表 通勤・通学者の総移動率

		相手先市町村																																	
		盛岡市	八幡平市	滝沢市	雫石町	葛巻町	岩手町	紫波町	矢巾町	花巻市	北上市	遠野市	西和賀町	一関市	奥州市	金ヶ崎町	平泉町	釜石市	大槌町	大船渡市	陸前高田市	住田町	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村	久慈市	普代村	野田村	洋野町	二戸市	軽米町	九戸村	一戸町	
当該市町村	盛岡市	-	1.2	7.2	1.5	0.1	0.8	2.4	3.9	1.5	0.7	0.1	0.0	0.2	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
	八幡平市	12.0	-	4.7	0.3	0.1	3.2	0.1	0.4	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.2	
	滝沢市	39.7	2.5	-	2.8	0.1	0.9	0.7	1.7	0.7	0.5	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	
	雫石町	24.4	0.5	8.3	-	0.0	0.2	0.7	1.7	0.4	0.2	0.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
	葛巻町	2.8	0.5	0.9	0.1	-	2.5	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	1.5	0.2	1.2	1.2	
	岩手町	15.3	6.2	3.4	0.2	1.2	-	0.3	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	2.2	
	紫波町	21.5	0.1	1.2	0.4	0.0	0.1	-	7.9	7.7	1.5	0.1	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	
	矢巾町	43.1	0.4	3.4	1.1	0.0	0.3	9.7	-	4.0	1.3	0.2	0.0	0.1	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	
	花巻市	4.4	0.0	0.4	0.1	0.0	0.0	2.5	1.1	-	9.0	0.9	0.0	0.2	0.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	北上市	2.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	9.8	-	0.4	0.5	0.6	5.3	3.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	遠野市	0.9	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	3.2	1.1	-	0.0	0.1	0.4	0.1	0.0	1.8	0.1	0.2	0.1	0.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	西和賀町	1.3	0.0	0.2	0.8	0.0	0.0	0.2	0.1	0.7	7.4	0.0	-	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	一関市	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	0.0	-	2.9	0.2	2.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	奥州市	1.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.8	4.0	0.1	0.0	3.0	-	4.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	金ヶ崎町	1.6	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3	0.3	2.6	19.9	0.1	0.0	1.5	33.8	-	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平泉町	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	0.0	0.0	31.7	11.9	0.5	-	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	釜石市	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	6.9	1.3	0.1	0.1	0.5	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大槌町	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.8	-	0.3	0.0	0.0	1.1	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大船渡市	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	1.3	0.1	-	7.4	1.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	陸前高田市	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.0	0.6	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	13.0	-	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	住田町	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	3.9	0.0	0.2	0.7	0.1	0.0	0.6	0.1	11.3	9.2	-	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宮古市	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	-	3.9	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山田町	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	2.2	0.1	0.0	0.0	12.4	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	岩泉町	0.8	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.1	-	3.0	0.5	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	田野畑村	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.1	8.4	-	1.6	2.1	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	
	久慈市	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	-	1.0	3.0	3.9	0.3	0.3	0.3	0.1	
	普代村	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	1.0	2.6	11.6	-	2.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	野田村	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1	0.2	24.0	1.7	-	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	
	洋野町	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.0	0.2	-	0.2	1.5	0.2	0.0	
	二戸市	2.1	0.7	0.3	0.0	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1	-	2.5	2.2	7.8	
	軽米町	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	2.6	7.4	-	3.1	1.1	
	九戸村	1.2	0.0	0.1	0.0	1.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	0.6	10.2	4.8	-	2.3		
	一戸町	3.0	0.5	0.9	0.1	0.6	2.3	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3	0.8	1.1	-	

43. 急激な人口減少をくい止めるために

- ・ 今後予想される急激な人口減少をくい止めるためには、自然減、社会減を抑制する政策を総動員して、生産年齢人口の維持、雇用・所得の増加、人口動態の改善という好循環を実現することが必要。
- ・ そのためには、住民の暮らしと仕事面でつながりの強い市町村が、結婚・出産・子育て・教育環境の整備や、雇用・所得環境の改善に共同で取組むことで、地域全体で社会増・自然増につなげていく取組が重要。



(参考1) シナリオ別の将来人口推計

表 県内市町村の将来人口推計

市町村名	総人口 (2010年)	生産年齢 人口 (2010年)	合計特殊 出生率	将来人口推計(2040年)								自然増減の総 人口に与える 影響度		社会増減の総 人口に与える影 響度	
				社人研推計		創成会議 推計	出生率が回復する ケース (シナリオ①)		出生率回復+社会増 減解消ケース (シナリオ②)		c/a	影響度	d/c	影響度	
				総人口a	生産年齢 人口	総人口b	総人口c	生産年齢 人口	総人口d	生産年齢 人口					
盛岡市	298,348	194,848	1.31	243,930	131,417	238,270	269,487	141,817	272,875	144,812	1.10	5	1.01	1	
八幡平市	28,680	16,432	1.4	16,465	7,454	14,987	17,770	8,006	19,265	9,345	1.08	5	1.08	5	
滝沢市	53,857	36,657	1.45	50,730	28,056	50,903	54,964	29,753	53,942	29,373	1.08	5	0.98	0	
雫石町	18,033	10,767	1.42	11,254	5,290	10,476	12,203	5,657	12,818	6,336	1.08	5	1.05	3	
葛巻町	7,304	3,837	1.58	3,631	1,507	3,330	3,803	1,565	4,047	1,762	1.05	3	1.06	4	
岩手町	14,984	8,609	1.48	8,604	4,013	7,717	9,202	4,249	10,074	4,945	1.07	4	1.09	5	
紫波町	33,288	20,657	1.34	25,902	13,697	25,111	28,060	14,353	28,155	14,478	1.08	5	1.00	1	
矢巾町	27,205	17,815	1.3	21,508	11,074	20,337	23,429	11,735	24,361	12,707	1.09	5	1.04	3	
花巻市	101,438	59,717	1.42	71,618	36,854	68,691	77,145	38,613	79,220	40,756	1.08	5	1.03	2	
北上市	93,138	58,679	1.54	76,729	41,580	73,437	81,528	42,716	84,037	44,323	1.06	4	1.03	2	
遠野市	29,331	15,924	1.69	17,786	8,380	16,306	18,555	8,633	19,642	9,607	1.04	3	1.06	4	
一関市	127,642	73,102	1.61	82,277	39,637	75,024	86,820	40,903	92,880	46,374	1.06	4	1.07	4	
奥州市	124,746	72,657	1.59	86,231	43,473	80,923	91,528	45,155	95,195	48,723	1.06	4	1.04	3	
西和賀町	6,602	3,170	1.53	3,183	1,211	2,859	3,307	1,233	3,470	1,484	1.04	3	1.05	3	
金ヶ崎町	16,325	9,933	1.55	13,645	7,483	13,693	14,552	7,774	14,187	7,586	1.07	4	0.97	0	
平泉町	8,345	4,815	1.48	5,333	2,582	4,955	5,605	2,646	5,876	2,921	1.05	3	1.05	3	
宮古市	59,430	33,826	1.58	35,903	17,069	32,166	37,937	17,652	41,210	20,131	1.06	4	1.09	5	
大船渡市	40,737	23,328	1.55	24,969	11,873	22,987	26,880	12,607	28,710	14,132	1.08	5	1.07	4	
陸前高田市	23,300	12,443	1.39	13,088	5,426	12,426	13,857	5,565	13,450	6,079	1.06	4	0.97	0	
釜石市	39,574	21,365	1.59	21,503	10,091	19,002	22,806	10,445	25,044	11,935	1.06	4	1.10	5	
住田町	6,190	3,220	1.38	3,211	1,468	2,910	3,437	1,550	3,710	1,766	1.07	4	1.08	5	
大槌町	15,276	8,579	1.54	7,886	3,615	7,160	8,447	3,816	8,625	4,144	1.07	4	1.02	2	
山田町	18,617	10,361	1.54	10,139	4,777	9,040	10,733	4,955	11,180	5,476	1.06	4	1.04	3	
岩泉町	10,804	5,599	1.64	5,297	2,231	4,662	5,569	2,304	6,138	2,742	1.05	3	1.10	5	
田野畑村	3,843	2,087	1.69	2,086	836	1,834	2,137	835	2,329	1,044	1.02	2	1.09	5	
久慈市	36,872	21,943	1.64	24,391	11,771	21,691	25,936	12,290	28,285	14,259	1.06	4	1.09	5	
二戸市	29,702	17,170	1.47	18,820	8,925	17,246	20,148	9,330	21,420	10,509	1.07	4	1.06	4	
普代村	3,088	1,759	1.54	1,760	738	1,567	1,814	744	1,960	908	1.03	2	1.08	5	
軽米町	10,209	5,706	1.57	5,930	2,725	5,426	6,338	2,861	6,688	3,183	1.07	4	1.06	4	
野田村	4,632	2,713	1.53	2,656	1,103	2,413	2,836	1,182	2,947	1,384	1.07	4	1.04	3	
九戸村	6,507	3,548	1.5	3,863	1,806	3,579	4,091	1,862	4,299	2,040	1.06	4	1.05	3	
洋野町	17,913	10,154	1.51	10,272	4,527	9,101	11,072	4,808	12,105	5,875	1.08	5	1.09	5	
一戸町	14,187	7,893	1.47	7,504	3,286	6,698	8,051	3,484	8,826	4,102	1.07	4	1.10	5	
岩手県全体	1,330,147	799,314	1.45	938,104	475,975	886,928	1,010,051	501,098	1,046,972	535,243	1.08	5	1.04	3	

・社人研による将来推計人口をベースに、自然減対策と社会減対策の効果を測定するため、2つのシナリオで独自に推計をした。

・出生率が2.1に2030年に回復するケース（シナリオ①）では2040年に101万人、

それに加えて社会増減がゼロになるケース（シナリオ②）では2040年に104.7万人と、社人研推計より10万人程度増加する見込み。

(参考2) シナリオ別の将来人口推計(増減数)

表 県内市町村の将来人口推計

市町村名	総人口 (2010年)	生産年齢 人口 (2010年)	合計特殊 出生率	将来人口推計(2010年→ 2040年の増減数)							自然増 減の総 人口へ の影響 度	社会増 減の総 人口へ の影響 度
				社人研推計		創成会議 推計	出生率が回復する ケース (シナリオ①)		出生率回復+社会増 減解消ケース (シナリオ②)			
				総人口a	生産年齢 人口	総人口b	総人口c	生産年齢 人口	総人口d	生産年齢 人口		
盛岡市	298,348	194,848	1.31	-54,418	-63,431	-60,078	-28,861	-53,031	-25,473	-50,036	5	1
八幡平市	28,680	16,432	1.4	-12,215	-8,978	-13,693	-10,910	-8,426	-9,415	-7,087	5	5
滝沢市	53,857	36,657	1.45	-3,127	-8,601	-2,954	1,107	-6,904	85	-7,284	5	0
雫石町	18,033	10,767	1.42	-6,779	-5,477	-7,557	-5,830	-5,110	-5,215	-4,431	5	3
葛巻町	7,304	3,837	1.58	-3,673	-2,330	-3,974	-3,501	-2,272	-3,257	-2,075	3	4
岩手町	14,984	8,609	1.48	-6,380	-4,596	-7,267	-5,782	-4,360	-4,910	-3,664	4	5
紫波町	33,288	20,657	1.34	-7,386	-6,960	-8,177	-5,228	-6,304	-5,133	-6,179	5	1
矢巾町	27,205	17,815	1.3	-5,697	-6,741	-6,868	-3,776	-6,080	-2,844	-5,108	5	3
花巻市	101,438	59,717	1.42	-29,820	-22,863	-32,747	-24,293	-21,104	-22,218	-18,961	5	2
北上市	93,138	58,679	1.54	-16,409	-17,099	-19,701	-11,610	-15,963	-9,101	-14,356	4	2
遠野市	29,331	15,924	1.69	-11,545	-7,544	-13,025	-10,776	-7,291	-9,689	-6,317	3	4
一関市	127,642	73,102	1.61	-45,365	-33,465	-52,618	-40,822	-32,199	-34,762	-26,728	4	4
奥州市	124,746	72,657	1.59	-38,515	-29,184	-43,823	-33,218	-27,502	-29,551	-23,934	4	3
西和賀町	6,602	3,170	1.53	-3,419	-1,959	-3,743	-3,295	-1,937	-3,132	-1,686	3	3
金ヶ崎町	16,325	9,933	1.55	-2,680	-2,450	-2,632	-1,773	-2,159	-2,138	-2,347	4	0
平泉町	8,345	4,815	1.48	-3,012	-2,233	-3,390	-2,740	-2,169	-2,469	-1,894	3	3
宮古市	59,430	33,826	1.58	-23,527	-16,757	-27,264	-21,493	-16,174	-18,220	-13,695	4	5
大船渡市	40,737	23,328	1.55	-15,768	-11,455	-17,750	-13,857	-10,721	-12,027	-9,196	5	4
陸前高田市	23,300	12,443	1.39	-10,212	-7,017	-10,874	-9,443	-6,878	-9,850	-6,364	4	0
釜石市	39,574	21,365	1.59	-18,071	-11,274	-20,572	-16,768	-10,920	-14,530	-9,430	4	5
住田町	6,190	3,220	1.38	-2,979	-1,752	-3,280	-2,753	-1,670	-2,480	-1,454	4	5
大槌町	15,276	8,579	1.54	-7,390	-4,964	-8,116	-6,829	-4,763	-6,651	-4,435	4	2
山田町	18,617	10,361	1.54	-8,478	-5,584	-9,577	-7,884	-5,406	-7,437	-4,885	4	3
岩泉町	10,804	5,599	1.64	-5,507	-3,368	-6,142	-5,235	-3,295	-4,666	-2,857	3	5
田野畑村	3,843	2,087	1.69	-1,757	-1,251	-2,009	-1,706	-1,252	-1,514	-1,043	2	5
久慈市	36,872	21,943	1.64	-12,481	-10,172	-15,181	-10,936	-9,653	-8,587	-7,684	4	5
二戸市	29,702	17,170	1.47	-10,882	-8,245	-12,456	-9,554	-7,840	-8,282	-6,661	4	4
普代村	3,088	1,759	1.54	-1,328	-1,021	-1,521	-1,274	-1,015	-1,128	-851	2	5
軽米町	10,209	5,706	1.57	-4,279	-2,981	-4,783	-3,871	-2,845	-3,521	-2,523	4	4
野田村	4,632	2,713	1.53	-1,976	-1,610	-2,219	-1,796	-1,531	-1,685	-1,329	4	3
九戸村	6,507	3,548	1.5	-2,644	-1,742	-2,928	-2,416	-1,686	-2,208	-1,508	4	3
洋野町	17,913	10,154	1.51	-7,641	-5,627	-8,812	-6,841	-5,346	-5,808	-4,279	5	5
一戸町	14,187	7,893	1.47	-6,683	-4,607	-7,489	-6,136	-4,409	-5,361	-3,791	4	5
岩手県全体	1,330,147	799,314	1.45	-392,043	-323,339	-443,219	-320,096	-298,216	-283,175	-264,071	5	3

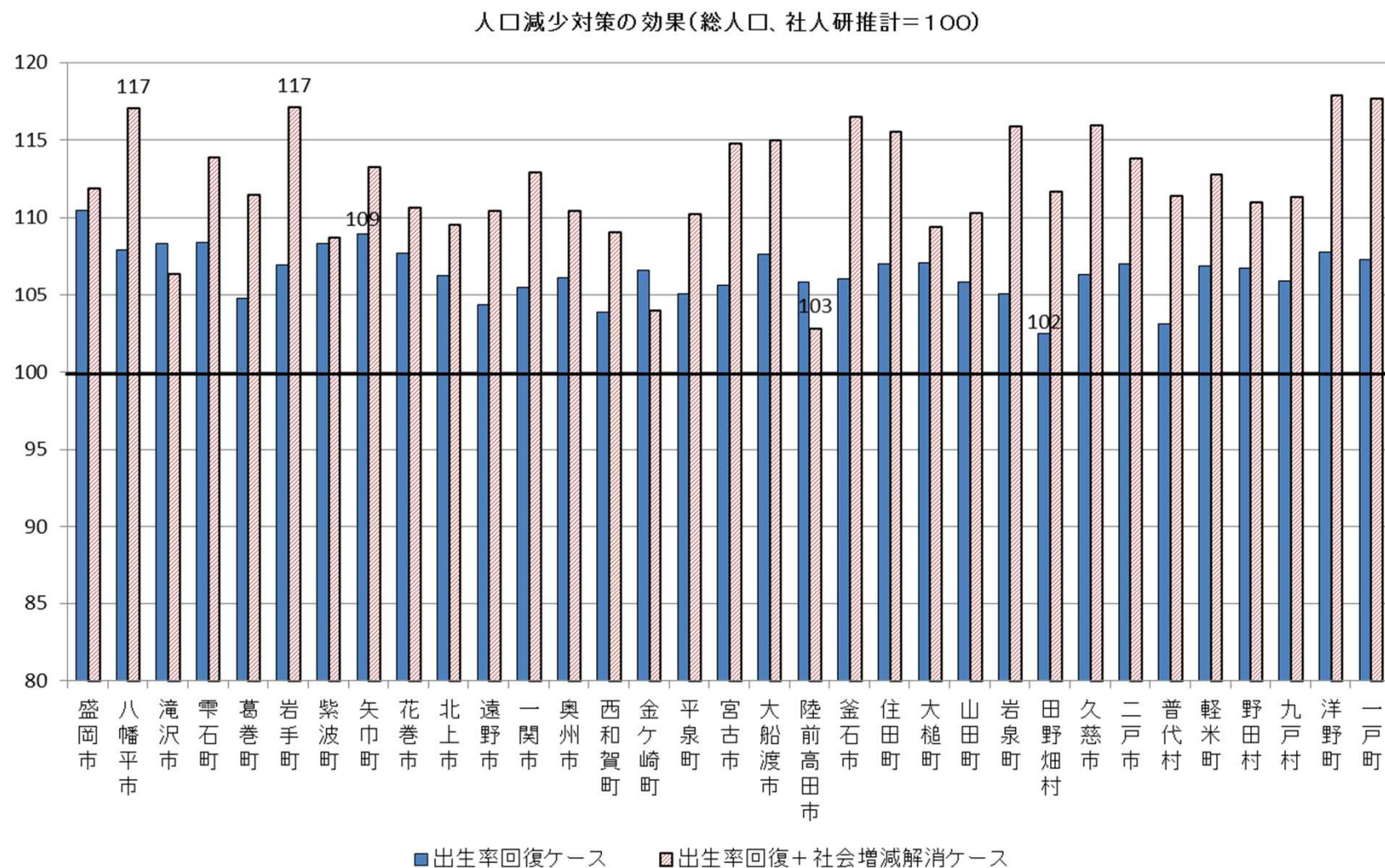
・これを増減数でみると、社人研推計で39万人の減少が見込まれるところ、出生率回復ケース（シナリオ①）では32万人、出生率回復+社会増減解消ケース（シナリオ②）では28万人の減少と見込まれる。

	2010年→2040年
社人研推計	△39万人
創成会議推計	△44万人
シナリオ①	△32万人
シナリオ②	△28万人

約10万人の増加

(参考3) 人口減少対策の効果(総人口)

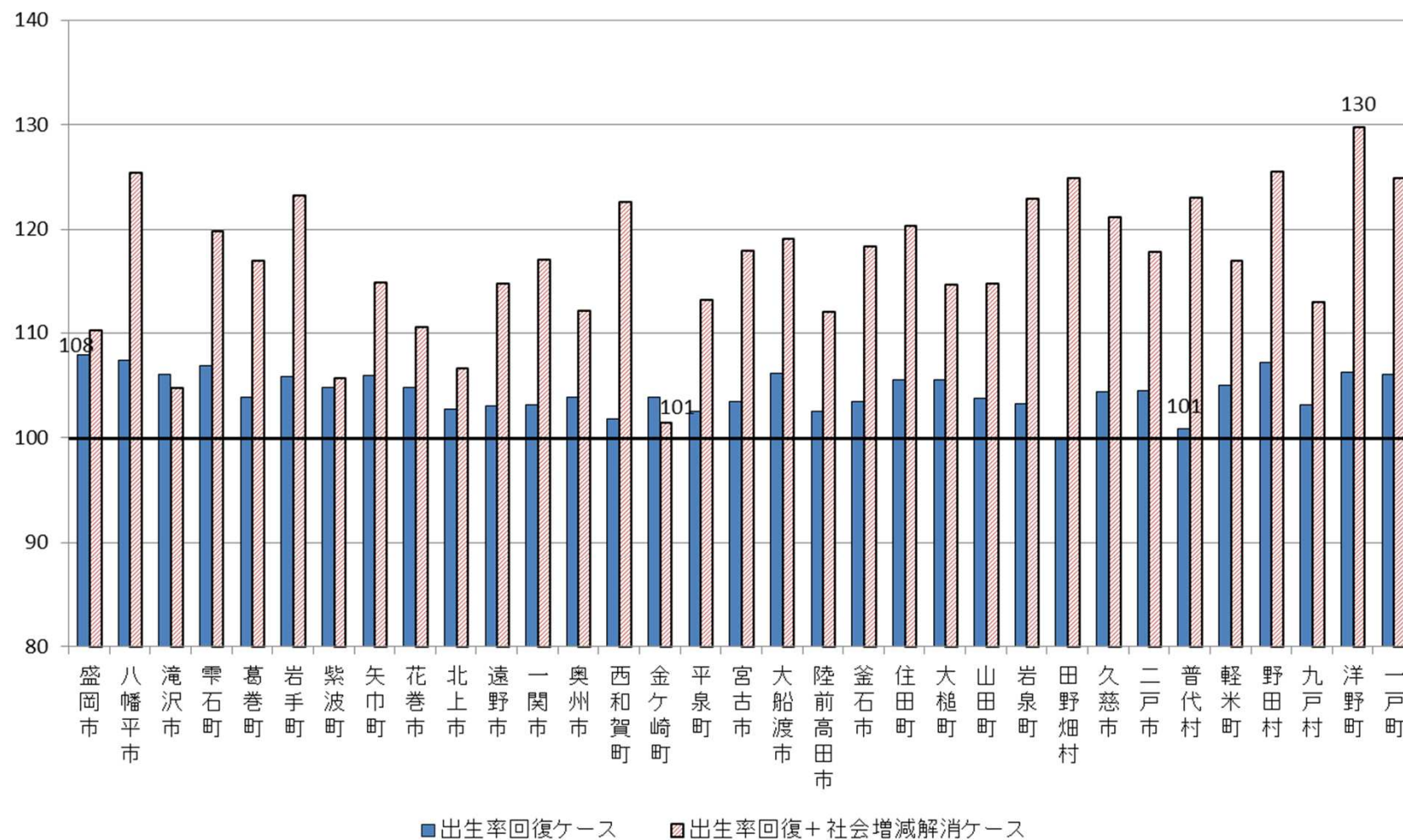
- ・ 2つのシナリオによる効果を、それぞれの推計人口と社人研推計との比率で表すと、シナリオ①では2%~9%、シナリオ②では3%~17%のプラス効果がある。



(参考4) 人口減少対策の効果(生産年齢人口)

・人口減少対策の効果を生産年齢人口についてみると、出生後、生産年齢人口となるまでに一定の時間がかかることから、シナリオ②による効果大きい。

人口減少対策の効果(生産年齢人口、社人研推計=100)



(参考5) 地域拠点からみた将来人口

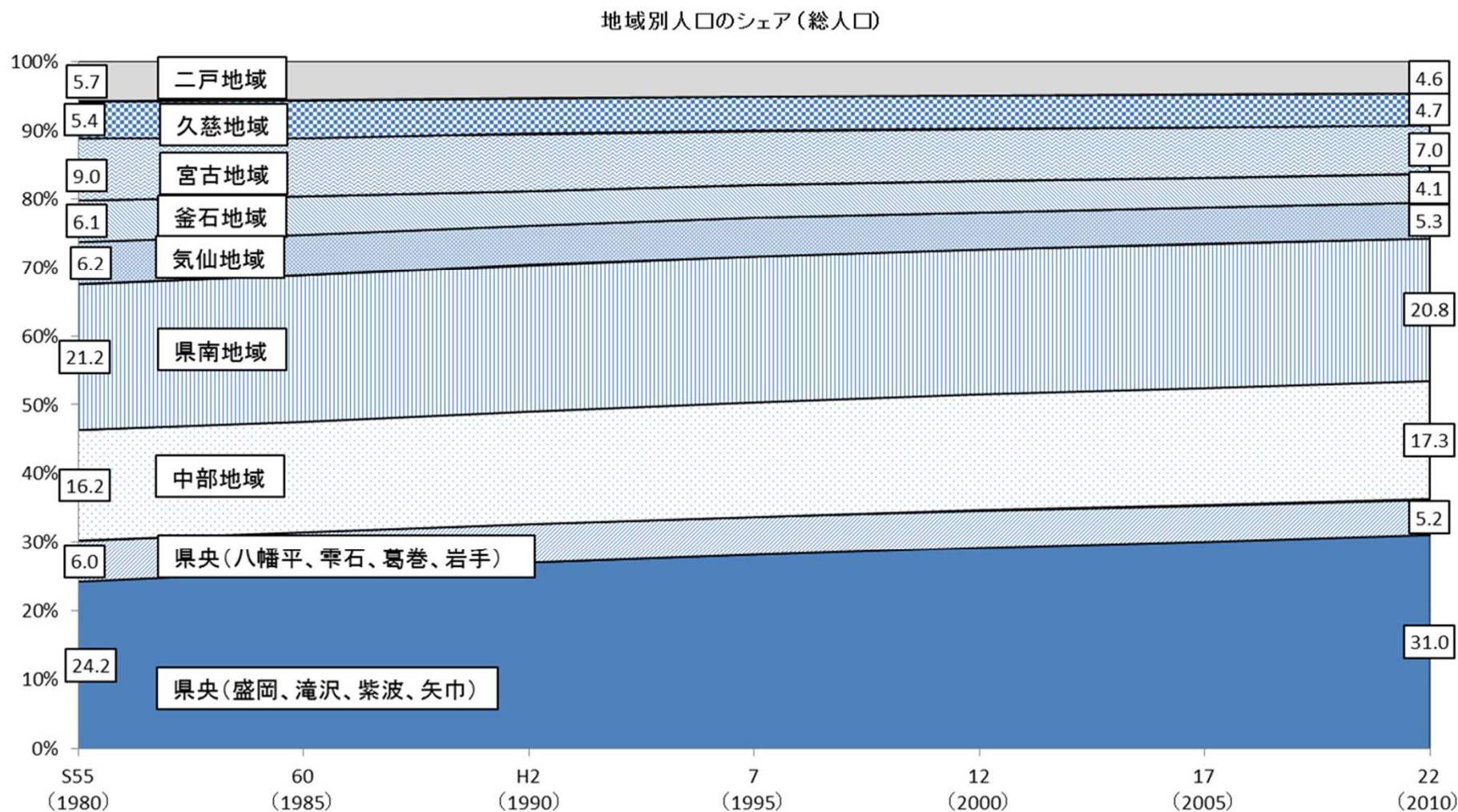
・市町村間のつながりの強い8つの地域を人口減少を食い止める拠点とみなすと、人口減少下でも一定の総人口と生産年齢人口の規模を確保することが可能。

表 県内拠点都市圏の将来人口推計

市町村名	総人口 (2010年)	生産年齢 人口 (2010年)	将来人口推計(2040年)								自然増減 の影響度		社会増減 の影響度	
			社人研推計		創成会議推計	出生率回復		出生率回復＋社会増減解消		c/a	影響度	d/c	影響度	
			総人口a	生産年齢人口	総人口b	総人口c	生産年齢人口	総人口d	生産年齢人口					
盛岡市	298,348	194,848	243,930	131,417	238,270	269,487	141,817	272,875	144,812	1.10	5	1.01	1	
八幡平市	28,680	16,432	16,465	7,454	14,987	17,770	8,006	19,265	9,345	1.08	5	1.08	5	
滝沢市	53,857	36,657	50,730	28,056	50,903	54,964	29,753	53,942	29,373	1.08	5	0.98	0	
雫石町	18,033	10,767	11,254	5,290	10,476	12,203	5,657	12,818	6,336	1.08	5	1.05	3	
葛巻町	7,304	3,837	3,631	1,507	3,330	3,803	1,565	4,047	1,762	1.05	3	1.06	4	
岩手町	14,984	8,609	8,604	4,013	7,717	9,202	4,249	10,074	4,945	1.07	4	1.09	5	
紫波町	33,288	20,657	25,902	13,697	25,111	28,060	14,353	28,155	14,478	1.08	5	1.00	1	
矢巾町	27,205	17,815	21,508	11,074	20,337	23,429	11,735	24,361	12,707	1.09	5	1.04	3	
県央拠点	481,699	309,622	382,024	202,508	371,131	418,920	217,134	425,538	223,758	1.10	5	1.02	2	
花巻市	101,438	59,717	71,618	36,854	68,691	77,145	38,613	79,220	40,756	1.08	5	1.03	2	
北上市	93,138	58,679	76,729	41,580	73,437	81,528	42,716	84,037	44,323	1.06	4	1.03	2	
遠野市	29,331	15,924	17,786	8,380	16,306	18,555	8,633	19,642	9,607	1.04	3	1.06	4	
西和賀町	6,602	3,170	3,183	1,211	2,859	3,307	1,233	3,470	1,484	1.04	3	1.05	3	
中部拠点	230,509	137,490	169,316	88,025	161,293	180,535	91,195	186,370	96,170	1.07	4	1.03	2	
一関市	127,642	73,102	82,277	39,637	75,024	86,820	40,903	92,880	46,374	1.06	4	1.07	4	
奥州市	124,746	72,657	86,231	43,473	80,923	91,528	45,155	95,195	48,723	1.06	4	1.04	3	
金ヶ崎町	16,325	9,933	13,645	7,483	13,693	14,552	7,774	14,187	7,586	1.07	4	0.97	0	
平泉町	8,345	4,815	5,333	2,582	4,955	5,605	2,646	5,876	2,921	1.05	3	1.05	3	
県南拠点	277,058	160,507	187,486	93,175	174,595	198,505	96,478	208,138	105,604	1.06	4	1.05	3	
大船渡市	40,737	23,328	24,969	11,873	22,987	26,880	12,607	28,710	14,132	1.08	5	1.07	4	
陸前高田市	23,300	12,443	13,088	5,426	12,426	13,857	5,565	13,450	6,079	1.06	4	0.97	0	
住田町	6,190	3,220	3,211	1,468	2,910	3,437	1,550	3,710	1,766	1.07	4	1.08	5	
気仙拠点	70,227	38,991	41,268	18,767	38,324	44,175	19,721	45,870	21,977	1.07	4	1.04	3	
釜石市	39,574	21,365	21,503	10,091	19,002	22,806	10,445	25,044	11,935	1.06	4	1.10	5	
大槌町	15,276	8,579	7,886	3,615	7,160	8,447	3,816	8,625	4,144	1.07	4	1.02	2	
釜石・大槌拠点	54,850	29,944	29,389	13,706	26,162	31,253	14,261	33,669	16,079	1.06	4	1.08	5	
宮古市	59,430	33,826	35,903	17,069	32,166	37,937	17,652	41,210	20,131	1.06	4	1.09	5	
山田町	18,617	10,361	10,139	4,777	9,040	10,733	4,955	11,180	5,476	1.06	4	1.04	3	
岩泉町	10,804	5,599	5,297	2,231	4,662	5,569	2,304	6,138	2,742	1.05	3	1.10	5	
田野畑村	3,843	2,087	2,086	836	1,834	2,137	835	2,329	1,044	1.02	2	1.09	5	
沿岸中部拠点	92,694	51,873	53,425	24,913	47,703	56,376	25,747	60,857	29,393	1.06	4	1.08	5	
久慈市	36,872	21,943	24,391	11,771	21,691	25,936	12,290	28,285	14,259	1.06	4	1.09	5	
普代村	3,088	1,759	1,760	738	1,567	1,814	744	1,960	908	1.03	2	1.08	5	
野田村	4,632	2,713	2,656	1,103	2,413	2,836	1,182	2,947	1,384	1.07	4	1.04	3	
洋野町	17,913	10,154	10,272	4,527	9,101	11,072	4,808	12,105	5,875	1.08	5	1.09	5	
沿岸北部拠点	62,505	36,569	39,079	18,139	34,771	41,659	19,025	45,297	22,426	1.07	4	1.09	5	
二戸市	29,702	17,170	18,820	8,925	17,246	20,148	9,330	21,420	10,509	1.07	4	1.06	4	
軽米町	10,209	5,706	5,930	2,725	5,426	6,338	2,861	6,688	3,183	1.07	4	1.06	4	
九戸村	6,507	3,548	3,863	1,806	3,579	4,091	1,862	4,299	2,040	1.06	4	1.05	3	
一戸町	14,187	7,893	7,504	3,286	6,698	8,051	3,484	8,826	4,102	1.07	4	1.10	5	
県北拠点	60,605	34,317	36,117	16,742	32,950	38,628	17,537	41,233	19,835	1.07	4	1.07	4	
岩手県全体	1,330,147	799,313	938,104	475,975	886,928	1,010,051	501,098	1,046,972	535,243	1.08	5	1.04	3	

(参考6) 地域別人口のシェアの推移(総人口)

・ 県全体に占める地域圏ごとの人口シェアをみると、県央4市町（盛岡、滝沢、紫波、矢巾）に人口が集中してきており、1980年の24%から2010年には31%に高まっている。



(参考7) 地域別人口のシェア(20～39歳女性人口)

・ 20～39歳女性人口でみると、総人口以上に県央4市町への集中しており、1980年の29%から2010年には38%まで高まっている。

